

# 令和 6 年度

# 事 業 報 告

人間を救うのは、人間だ。



---

## Mission statement

### 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

### わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

### わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

# 目 次

令和 6 年度 TOPICS	01
1 災害救護	03
2 国際活動	09
3 赤十字奉仕団	11
4 青少年赤十字	17
5 救急法等の講習	19
6 医療事業	22
7 看護師養成	24
8 血液事業	25
9 社会福祉事業	27
10 活動資金の募集	28
11 企業・団体とのパートナシップ	35
12 事業実施体制	37
13 監査報告	38
決算報告	39
資料編	47

## 赤十字の誕生

スイス人のアンリー・デュナンは、1859年、イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで放置された4万人の死傷者に遭遇します。「傷ついた兵士はもはや兵士ではない。人間である。人間同士としてその尊い生命は救わなければならぬ」との信念のもと、村人たちと協力して懸命に救護にあたりました。そして、この体験を「ソルフェリーノの思い出」という本にまとめ、以下の必要性を訴えました。

- ①戦場の負傷者と病人は敵味方の区別なく救護すること。
- ②そのための救護団体を平時から各国に組織すること。
- ③この目的のために国際的な条約を締結しておくこと。

この思想がヨーロッパ各国に反響を呼び1864年に戦争犠牲者の保護・救済のためのジュネーブ条約が調印され、国際赤十字が誕生しました。



「ソルフェリーノの啓示」東郷青児  
(日本赤十字社蔵)

## 令和6年度 TOPICS

日頃、日本赤十字社長野県支部の活動に対しまして、関係者をはじめ、多くの県民の皆さまから多大なるご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

令和6年度も、強い地震や広域に及ぶ記録的な大雨により、全国各地で甚大な被害が発生しました。これらの自然災害に際し、災害医療コーディネートチームの派遣や救援物資の手配等の災害救護活動はもとより、行政機関と協力し、被災された方々の生活再建を支援する義援金の募集・受付にも取り組みました。

国際活動では、絶え間なく発生する自然災害や武力紛争による人道危機に際し、赤十字の世界的ネットワークや緊急対応の仕組みのもと、保健・医療や衣食住など即時に対応する緊急支援から、復興を見据えての現地赤十字・赤新月社の支援など、その形はさまざまですが、海外救援金の募集を通じて、世界各地で苦しむ人びとに支援を届けてきました。

赤十字の理念である“人道”的なもと、県民の皆さまから信頼される赤十字をめざし、取り組んだ活動をここに報告いたします。

### 地域・市民に高まる防災・減災意識



防災教育「きけんはっけん」（長沼小学校）



防災研修会（下諏訪町）

### 県内各地で防災・減災セミナーを実施

近年は「南海トラフ地震」の発生が切迫しているとされ、国が新たな被害想定を見直す中、地球規模の気候変動に起因する大雨リスクの増加等も重なり、まずは、自分自身のいのちと安全、そして、地域を守るための防災・減災意識の高まりから、様々な取り組みが県内各地に広がっています。

赤十字は、国内外で発生した自然災害に際し、数々の災害救護活動を展開してきましたので、これらの活動実績と得た教訓を活かし、ボランティア講師の方々と協力して、市民の皆さんに防災・減災意識の更なる向上と役立つ知識・技術の普及に取り組んでいます。

## 「新しい赤十字」に向けた取組が始動



人間を救うのは、人間だ。

(150周年記念のロゴマーク)

## 令和9年、日本赤十字社は創立150周年を迎えます

前身の博愛社創立から150年の節目を迎えるにあたり、令和6年度、「一緒に創ろう 日赤の未来」をスローガンに、次の50年先を見据えた「新しい赤十字」を描くプロジェクトがスタートしました。これは、職員をはじめ赤十字関係者が一体となって推進していく「全員参加型のプロジェクト」です。このプロジェクトの目的を具現化するために、各支部・施設に「推進メンバー」「推進スタッフ」を置き、プロジェクトのエンジンとなって進めていきます。

### 【創立150周年に目指すこと】

- 赤十字の理念に共感、共鳴する人々と共に「新しい時代の赤十字」を作り上げる。
- そのため、まずはすべての職員がプロジェクトの目的・意義を理解し自分ゴト化する。
- 来し方を振り返り、赤十字の意味を再認識し、未来への展望を描く礎とする。

## 赤十字の歴史を後世に伝えていくために



### 長野県赤十字歴史資料館の保全工事

平成20年に開館した歴史資料館は、明治32年の建築当時の資材を再利用し、一部を復元した建物です。開館から15年以上が経過し、シロアリの発生や資材の腐食が進んでいましたが、長野県赤十字有功会のご支援により、保全工事を行いました。また、広報奉仕団が館内の障子紙を張り替えてくれましたので、明るくなった資料館で多くの方々をお迎えし、赤十字の歴史を伝えていきます。

# 1 災害救護 組織力を結集して災害に備える

災害救護活動は、日本赤十字社法及び日本赤十字社定款に規定する基本的業務です。

また、日本赤十字社は災害対策基本法に指定公共機関として位置付けられており、災害発生時に重要な役割を担っています。

長野県支部では、あらゆる災害に迅速に対応できるよう、県内各赤十字病院に医療救護班を常備するほか、被災地の医療ニーズの把握、医療救護班の活動にかかる他機関等との連携や調整を行う日赤災害医療コーディネーター及び同コーディネートスタッフを任命し、救護体制を整えています。

令和6年度は、能登半島地震災害への対応を5月の大型連休まで継続実施したほか、9月の能登半島大雨災害の被災地支援のため、発生直後から第3ブロック各県支部との連携体制を構築し、県内赤十字病院から医療救護班や日赤災害医療コーディネートチームを派遣しました。

また、今後起こりうる大規模災害に備え、救援物資の計画的な備蓄に加え、支部職員が迅速に初動体制を整えるための情報共有を中心とした研修を実施したほか、医療救護班要員やこころのケア要員が、円滑な救護活動が展開できるよう、知識・技術の一層の向上に資する訓練や研修も実施しました。

## （1）災害救護活動の実施

### ア 令和6年能登半島大雨災害の概況

9月20日頃から日本海から東北地方付近に前線が停滞し、台風第14号から変わった低気圧の影響により、石川県では21日午前中に線状降水帯が発生し、輪島市、珠洲市及び能登町に大雨特別警報が発表され、北陸地方の日本海側では記録的な大雨となりました。概況は次のとおりです。

#### ○被害状況（石川県災害対策本部調べ）

区分	被害状況等
人的被害	死者 16人、重傷者 2人、軽傷者 45人 計 63人
住家被害	全壊 110棟、半壊 576棟、一部損壊 119棟、床上浸水 53棟、床下浸水 770棟 計 1,628棟

#### ○避難所開設状況（石川県災害対策本部調べ）

市町名	開設数（箇所）	避難者数（人）
輪島市	13	234
珠洲市	2	10
計	15	244

イ 支部職員及び医療救護班等の派遣状況

(ア) 医療救護班の派遣

石川県輪島市へ医療救護班を派遣し、避難所で生活する住民への巡回診療及び避難所の環境整備を行いました。

派遣元(施設名)	医師 (人)	看護師 (人)	薬剤師 (人)	主事 (人)	計 (人)	派遣期間
長野赤十字病院	1	3	1	3	8	9月26日～29日



避難所のアセスメントを行う医療救護班  
(長野赤十字病院)



巡回診療の記録を作成する医療救護班  
(長野赤十字病院)

(イ) 日赤災害医療コーディネートチームの派遣

石川県支部災害対策本部へ災害医療コーディネーター及びコーディネートスタッフを派遣し、被災地の保健医療ニーズ等を踏まえた活動方針の検討を行うとともに関係機関との連絡調整など、救護班の活動に関して医療救護の専門的観点から活動調整等を行いました。

派遣元(施設名)	コーディネーター (人)	スタッフ (人)	計 (人)	派遣期間
安曇野赤十字病院	1	2	3	9月28日～10月2日



避難所等での活動方針を検討  
(安曇野赤十字病院)



連絡調整のために関係機関を訪問  
(安曇野赤十字病院)

#### ウ 義援金の受付

被災された方に配分する義援金を受け付けました。お預かりした義援金の全額は、被災地の配分委員会を通じて、被災者にお届けしています。

○名 称：令和6年9月能登半島大雨災害義援金

○受付期間：令和6年9月25日～令和7年12月26日

※令和6年能登半島地震災害に係る義援金の受付も継続実施。

### (2) 災害時緊急支援体制の強化

#### ア 医療救護班

災害や大事故が発生した際、直ちに被災地や事故現場へ医師・看護師等を派遣するため、県内の赤十字病院に医療救護班 計16班を常備しています。この医療救護班は、医師1人、看護師長1人、看護師2人、主事2人の計6人を基準として編成します。

#### イ 日赤災害医療コーディネートチームの増員

被災地における医療ニーズの把握や被災状況などの情報収集、他の関係機関との連絡調整を行うため、各赤十字病院に日赤災害医療コーディネートチームを配置しています。

このチームは、災害医療コーディネーター(医師)1人とコーディネートスタッフ(看護師、事務職員等)の計3～4人で編成します。令和6年度は、コーディネーターを2人、コーディネートスタッフを7人増員し、全ての病院にチームを配置しました。(Co 8人、Cos29人)

#### ウ 血液供給要員

迅速な血液製剤の輸送のため、県内赤十字血液センターの各所に血液供給要員を配置しています。

#### エ 防災ボランティア

被災者に対する応急救護・復旧等の活動を支援する防災ボランティアを組織しています。

### (3) 各種訓練の実施

#### ア 第3ブロック支部合同災害救護訓練

11月16日から17日にかけて、静岡県浜松赤十字病院を主会場に、日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練を実施しました。

遠州灘沖を震源とする地震により、建物の倒壊や津波による被害等、多くの負傷者が発生したと想定し、各県から参集した救護班の活動場所の管理、通信体制の確立、情報収集等を行う支部現地災害対策本部の開設・運営訓練、負傷者を受け入れる救護所の設置・運営訓練、病院アセスメント訓練、血液製剤の緊急搬送訓練などを行いました。

訓練には、地元の自治体、消防機関、医師会のほか、第3ブロック各県支部の医療救護班、支部災害対策本部要員、血液供給要員、防災ボランティアなど約300人が参加し、有事に備えた連携強化に取り組みました。

イ 長野県支部合同災害救護訓練（順延）

飯山赤十字病院を拠点に飯山市の訓練と合同で行う予定でしたが、能登半島大雨災害の対応により、やむなく中止としました。なお、令和7年度に同会場で実施する予定です。

ウ その他の救護訓練

訓練名	実施日	場 所	参加人員（人）
長野県総合防災訓練	令和6年10月20日	小諸市	8

（4）各種研修の実施

ア 医療救護班研修

医療救護班を対象に、災害時における医療救護班の役割や活動内容を理解するとともに、基礎行動や救護資機材の使用方法の確認及び災害診療記録やJ-SPEED等、医療救護活動において活用する様式やアプリケーションに関する知識と技術の向上を図ることを目的に実施しました。

実施日	場 所	参加人員（人）
令和6年6月15日	長野県支部	45



災害診療記録の入力等について学ぶ受講者



被災者に寄り添う活動を考えるグループワーク

イ こころのケア研修

災害時に被災者や救援者が受けるストレスを緩和するための「こころのケア」は、赤十字が行う災害救護の重要な活動として位置づけています。

こころのケア活動の一層の充実を図るため、医療救護班要員等を対象に研修を実施し、被災者が被る心理的影響の特性やその対応方法等について理解を深めました。

地 域	実施日	場 所	参加人員（人）
中南信	令和6年7月21日	諏訪赤十字病院	24
東北信	令和6年10月3日	長野県支部	20



被災者の気持ちを体験するロールプレイ



ストレス反応について理解を深める受講者

#### ウ 救護員としての赤十字看護師研修

災害時に救護員の立場と役割を理解し、的確に判断・行動ができる赤十字の救護看護師を養成するため、県内赤十字病院の看護師を対象に研修を実施しました。

地 域	実施日	場 所	修了者数(人)
中南信	令和 6 年 8 月 5 日、20 日、21 日	諏訪赤十字病院	27
東北信	8 月 8 日、 9 日、10 日	長野赤十字病院	26

#### エ その他の救護研修

研修名	実施日	場所	参加人数(人)
災害医療コーディネート研修(第 1 回)	令和 6 年 7 月 5 日～ 6 日	本社	1
災害医療コーディネート研修(第 2 回)	11 月 23 日～ 24 日	本社	1
こころのケア指導者養成研修	10 月 9 日～ 10 日	本社	1

#### (5) 救護資機材等の整備

今後起こり得る大規模災害に備えて、災害救護用資機材と被災者の支援、県民の安心・安全に役立てるための救援物資を整備しました。

#### ア 令和 6 年度に整備した救護資機材

品 名	数 量	配備先
ポータブル蓄電池 (ソーラーパネル付)	2 台	下伊那赤十字病院、長野県支部
救護員作業衣 (空調服ベスト)	115 着	県内赤十字施設

#### イ 令和 6 年度に整備した救援物資

品 名	数 量 (枚)
タオルケット	1,000

### (6) 各種イベント・スポーツ大会等における臨時救護活動の実施

県内各地の体育大会等の行事に、医師・看護師等を派遣し、救護活動を実施しました。

派遣延日数（日）	派遣救護員（人）			
	医 師	看護師等	主事等	合 計
12	-	21	2	23

### (7) 義援金の受付

国内で発生した災害の被災者に対し、生活を支えるための義援金を受け付けました。

この義援金の全額は、被災地の義援金配分委員会を通じ、被災者に届けられます。

名 称	災害発生年月	件数（件）	金額（円）
令和6年能登半島地震災害義援金	令和 6 年 1月	951	64,944,041
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	8月	100	545,212
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	9月	326	10,128,774
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	12月	37	156,545
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	令和 7 年 3月	21	648,539
合 計		1,435	76,423,111

### (8) 見舞金品の配分

県内で発生した豪雨、地震、火事などの被災者に対し、「長野県支部災害被災者見舞規程」に基づいて、見舞金及び見舞品を配分しました。

見舞金（円）	毛布（枚）	緊急セット（個）	安眠セット（個）
270,000	87	1	7

## 2 国際活動 世界の災害・紛争への対応

日本赤十字社は、世界191の国や地域に広がる国際赤十字・赤新月社連盟の一員として、世界各地で発生する災害・紛争で苦しむ人々に対する緊急救援や長期的な開発協力に取り組んでいます。

令和6年度は、第3ブロック支部と連携し、本社が行う開発途上国等における資機材の整備や地域保健分野での啓発活動などに参加しました。

### (1) 国際救援

海外救援金の受付状況

区分	件数(件)	金額(円)
中東人道危機救援金	32	76,943
バングラデシュ南部避難民救援金	38	78,928
アフガニスタン人道危機救援金	50	81,738
ウクライナ人道危機救援金	213	2,242,245
イスラエル・ガザ人道危機救援金	101	268,026
レバノン人道危機救援金	35	138,329
地域無指定の救援金	5	37,324
NHK 海外たすけあい	1,587	1,678,785
合計	2,061	4,602,318

### (2) 開発協力

#### ア レバノン プライマリーヘルス・スケールアップ事業

2011年にシリア紛争が始まって以降、レバノンでは、現在も150万人以上の難民が劣悪な環境での避難生活を余儀なくされています。さらに急性および慢性疾患に苦しむ避難民の多くが、必要な治療を受けることができない困難に直面しています。レバノン国内の医療施設に治療に欠かせない医薬品や医療衣の提供を行うとともに、避難所に食料や日用品等を届け、避難民の支援に取り組みました。



イ アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業

洪水やサイクロンなどの自然災害が発生しているアジア・大洋州地域において、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。災害への緊急即応体制整備の一環として、「給水・衛生災害対応キット」の配備に取り組むとともに、現地の赤十字社スタッフやボランティアを対象に、資機材を活用できる人材育成を支援しました。



浄水テストの使い方を確認する研修参加者  
(マレーシア)



災害時に安全な水を供給する様子  
(バングラデシュ)

ウ 東アフリカ地域3カ国（ブルンジ、ウガンダ、タンザニア）の地域保健強化事業

東アフリカ地域は、気候変動を原因とする洪水や干ばつ等の自然災害、内紛や政情不安による難民の発生や人口移動、エボラ出血熱をはじめとする感染症など様々な問題を抱えています。

東アフリカ地域の国々において、ラジオ放送やコミュニティ訪問を通じて、水・衛生、栄養、防災、感染症予防などの啓蒙活動を実施するとともに、住民が主体となって地域保健を強化する活動を支援しました。

### 3 赤十字奉仕団 人に寄り添い支えあう

赤十字奉仕団は、赤十字が使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々によって結成された組織です。

県内 89 の赤十字奉仕団では、赤十字思想の普及や活動資金の募集、災害救護の実施や準備、救急法・健康生活支援講習等の普及、献血の推進、社会福祉活動など、地区分区と連携しながら様々な分野で活動しています。

#### (1) 地域に貢献する奉仕団活動の推進

##### ア 地域の防災・減災に役立つ研修会等の開催

地域奉仕団員が災害に強いまちづくりの推進に貢献するとともに、防災啓発活動を牽引する人材を育成するための研修会を7月に長野県支部で開催しました。県内各地から奉仕団員86人が参加し、学習教材「ぼうさいまちがいさがしきけんはっけん！」の使い方を学ぶとともに、今年度は実践力を身につけてもらうため、演習を取り入れた研修も行いました。

##### イ 地域奉仕団同士の連携促進

県内6会場で地域奉仕団の委員長等を対象に開催した幹部研修会では、グループワークにより、地域を越えた奉仕団同士の交流を深め、新しい取組を始める際の手法について学びました。



新たな活動の進め方について学ぶ奉仕団員



情報交換により交流を深める団員

##### ウ 青年奉仕団の活動領域の拡大

青年奉仕団、長野県赤十字救護奉仕団、長野県赤十字血液センターが連携して防災啓発イベントに出展し、防災減災や献血普及、赤十字ボランティア募集の活動を行いました。災害時に役立つ体験ブースでは、新聞紙スリッパ、風呂敷リュック、三角巾の使い方の指導を行い、災害への備えの大切さを伝えるとともに、地域住民に赤十字ボランティアを知ってもらう機会となりました。これらの活動を通じてボランティア同士の交流を深めることもできました。



参加者に新聞紙スリッパの作り方を教える  
青年奉仕団員



参加者に赤十字事業を紹介する  
救護奉仕団員

## (2) ボランティアの育成と支援

### ア ボランティアが中心となる研修指導体制の再構築

豊富な知識と経験を有する指導講師が、支部主催の奉仕団研修の企画・立案にも積極的に関わっていただきことで、より実践的で内容の充実した奉仕団研修となることを目指し、指導講師会議を開催しました。



奉仕団研修で講義を行う指導講師



奉仕団研修でアドバイスをする指導講師

### イ 本社・第3ブロック研修会等への派遣

支部代表委員長が集まる中央委員会では、赤十字奉仕団の役割、活動の可能性について意見交換を行いました。

また、長野県が当番県として開催された第3ブロック会議では、SNSの活用により県域を越えて委員長同士が連絡を取り合い連携強化を図りつつ、各県それぞれが、地域課題等に向き合い活動していくことを確認しました。



岡田委員長の挨拶



第3ブロック支部の代表者による情報交換

### ウ 会議・研修会の企画

県支部委員会では、各奉仕団の今後の活動の参考となるよう、委員長や事務担当者による活動事例を共有しました。

参加者は報告した3団の活動に刺激を受け、今後の新たな活動につながる有意義な機会となりました。



活動内容を伝える地域委員長



音訳奉仕団員の活動（勉強会）

## (3) 青年・特殊赤十字奉仕団の活動

大学生や専門学生などで組織される青年赤十字奉仕団や、各種講習指導員や柔道整復師、音訳など専門技術をもった方々で組織する特殊赤十字奉仕団では、地域での清掃奉仕や平時の防災訓練への参加、各種講習での指導等各団の専門技術を活かし、様々な活動に取り組みました。

## &lt;参考&gt;

## (1) 地域赤十字奉仕団活動状況

区分	主な奉仕活動の内容	活動回数(回)	活動延人員(人)
災害救護に関する奉仕	被災者の救護及び避難等のための独自の活動	16	270
	関係機関の救護活動への協力	21	167
	災害時の炊き出し	7	126
	被災地の防疫及び復旧作業	4	7
	義援金品の募集と受付事務	166	7,811
	救援物資の整理・輸送・配分	35	199
	一品供出等による救護物資の備蓄	46	702
	防災訓練(炊き出し等)	323	7,256
	救急法・幼児安全法・防災啓発プログラム	264	5,304
	プール等における臨時救護	0	0
保健衛生に関する奉仕	その他	115	735
	小計	997	22,577
	献血運動への協力	42	226
	不潔場所の浄化と消毒	175	1,004
	公共施設の清掃	638	8,237
	衛生思想の普及	40	1,709
	保健所等の関係機関による行事への協力	4	7
	巡回診療等の手伝い	17	25
	健康生活支援講習の普及	48	1,020
社会福祉に関する奉仕	その他	67	512
	小計	1,031	12,740
	各種施設への労力奉仕等	157	1,289
	点訳及び視覚障害者への読書奉仕	52	215
	子供会臨時保育所等による地域の一般児童保護	29	121
	敬老会等での老人福祉	222	2,569
	要保護世帯への援助	61	101
	関係機関による各種行事への協力	183	2,338
	配食サービス	83	874
赤十字思想普及奉仕	その他	239	1,332
	小計	1,026	8,839
	赤十字思想の普及(広報活動を含む)	124	1,192
	支援者募集及び活動資金収納	392	6,700
	日赤支部地区分区の事務奉仕	210	729
	日赤主催行事への援助	79	570
	地方自治体や関係団体等による行事への協力	231	1,468
	奉仕団運営のために必要な事務奉仕	680	5,438
	その他	105	1,219
小計		1,821	17,316
合計		4,875	61,472
前年度		4,507	56,984

## (2) 各奉仕団の事業実施状況

## ア 地域赤十字奉仕団

内 容	実施日	場 所
赤十字奉仕団長野県支部委員会常任委員会	令和6年 4月 19日	長野県支部
	8月 30日(中止)	
	令和7年 2月 19日	
赤十字奉仕団長野県支部委員会	令和6年 4月 19日	長野県支部
赤十字奉仕団長野県支部委員会指導講師会議	令和6年 4月 10日	長野県支部
	6月 6日	
	7月 16日	
	令和7年 3月 6日	
赤十字奉仕団中央委員会	令和6年 5月 30日～31日	本社
地域赤十字奉仕団幹部研修会	令和6年 6月 17日	長野県支部
	6月 19日	佐久市
	6月 27日	安曇野市
	6月 28日	諏訪市
	7月 2日	下條村
	7月 3日	駒ヶ根市
防災啓発研修会	7月 26日	長野市
第3ブロック支部赤十字奉仕団委員長会議	令和6年 9月 5日～ 6日	長野県支部

## イ 青年赤十字奉仕団

内 容	実施日	場 所
青年赤十字奉仕団全国協議会	令和6年 5月 11日 令和7年 1月 18日	本社 (Web)
長野県青年赤十字奉仕団連絡協議会・交流会	令和6年 11月 9日 令和7年 3月 9日	長野県支部
第3ブロック支部 青年赤十字奉仕団代表者会議	令和6年 12月 7日～ 8日	石川県
赤十字運動月間呼びかけ 防災啓発活動 献血推進活動 リーダーシップ・トレーニングセンター (スタッフ参加) 地域活動への参加 (諏訪湖上清掃ほか) 入院患者へのメッセージカード等の作成 海外たすけあい募金活動 能登半島地震災害義援金募集活動	通 年	県内各地

## 令和6年度 事業報告 | 赤十字奉仕団

### ウ 特殊赤十字奉仕団

#### (ア) 救護隊

内 容	実施日	場 所
懇談会（柔道整復師会・支部・救護隊参加）	令和6年 7月 6日	長野県支部
第54回長野びんづる臨時救護	8月 3日	長野市
第37回諏訪湖マラソン大会臨時救護	10月 27日	諏訪市
赤十字救急法基礎講習会 救急員養成講習会	令和6年 6月 1日 6月 2日・16日	木曽町
	6月 2日 6月 8日・9日	長野市
	11月 9日 11月 16日・17日	上田市
	11月 17日 11月 23日・24日	岡谷市
	12月 1日 12月 7日・8日	南箕輪村
	令和7年 2月 2日 2月 15日・16日	長野市
各方面隊 総会・役員会 救援物資搬出・たな卸し 防災イベント・各臨時救護への参加	通 年	県内各地

#### (イ) 水上安全奉仕団

内 容	実施日	場 所
赤十字水上安全法救助員Ⅱ養成講習会	令和6年 8月 12日・13日	信濃町
善光寺平学童安全水泳大会運営スタッフ	9月 15日	長野市
赤十字水上安全法救助員Ⅰ養成講習会	9月 22日・23日 24日	長野市

#### (ウ) 安全奉仕団

内 容	実施日	場 所
赤十字救急法研修会	令和6年 4月 7日 5月 12日 7月 20日 10月 6日 11月 10日 12月 1日 令和6年 2月 2日	松本市
赤十字救急法基礎講習会 救急員養成講習会	令和6年 6月 22日 29日 7月 6日	松本市

## 令和6年度 事業報告 | 赤十字奉仕団

### (イ) 大町市救急員会

内 容	実施日	場 所
赤十字救急法基礎講習会 救急員養成	令和6年 4月13日 4月20日・21日	大町市
第41回大町アルプスマラソン臨時救護	10月20日	大町市

### (オ) 青少年赤十字賛助奉仕団

内 容	実施日	場 所
青少年赤十字賛助奉仕団総会	令和6年 4月10日	長野県支部
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会役員会・総会	7月10日・11日	本社
青少年赤十字指導者協議会への協力 加盟校登録式への講師派遣 青少年赤十字プログラム普及	通 年	県内各地

### (カ) 柔道整復師会奉仕団

内 容	実施日	場 所
懇談会（救護隊・支部・柔道整復師会参加）	令和6年 7月 6日	長野県支部
第21回小布施見にマラソン臨時救護	7月 14日	小布施町
第54回長野びんづる臨時救護	8月 3日	長野市

### (キ) 広報奉仕団

内 容	実施日	場 所
歴史資料館の案内、勉強会、清掃奉仕 (長野県赤十字歴史資料館案内ボランティア班)		長野県赤十字歴史資料館
紙芝居の作成・上演、絵本の制作 (紙芝居班)	通 年	飯田市 ほか
五稜郭あいの館の案内、清掃奉仕 (龍岡城五稜郭保存会案内ボランティア班)		佐久市 ほか

### (ク) 音訳奉仕団

内 容	実施日	場 所
総会	令和6年 4月 11日	松本市
音訳ボランティアセミナー	10月 4日	松本市
定例会・勉強会（自主講習会） 次年度養成講座準備会 他団体との交流 研修会・講習会等への参加	通 年	松本市 ほか

## 4 青少年赤十字 生きる力を育む

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標と、主体性を育むための「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ、長野県教育委員会をはじめ、教職員のご理解とご協力を得ながら、各学校の中で展開しています。

小・中・高等学校及び特別支援学校を合わせた211の加盟校においては、校内をはじめ、地域の人々との関わりや心のふれあいを大切にしながら、人権問題や防災・減災への取り組みなど、幅広い分野で活動しています。

令和6年度は、支部主催リーダーシップ・トレーニングセンターを全校種とも宿泊形式で開催したほか、県教育委員会主催の学校安全総合支援事業に学校防災アドバイザーとして参加し、児童生徒への防災減災思想の普及と新規加盟校の増強を図りました。

### (1) 加盟状況

区分	小学校	中学校	高等学校	盲・養学校	合計
加盟校数 (校)	66	74 (1増)	69	2	211
メンバー数 (人)	17,265	19,043	3,884	51	40,243

※ 令和6年度の新規加盟校：白馬村立白馬中学校

### (2) 研究推進校の設置

県教育委員会と協議し、青少年赤十字加盟校の中から小学校1校、中学校1校の2校を研究推進校に指定しました

指定年度	学校名	研究内容
令和5・6年度	佐久市立中佐都小学校	【探求的な見方・考え方をはたらかせ】 自ら課題をみつけ、自ら考え、 実行する学びの在り方
令和6・7年度	飯田市立鼎中学校	生徒が主体的に「気づき 考え 実行する」姿の 実現を目指して～「鼎中ボランティアステーション」活動を通じて～



車椅子のボッチャ選手との交流の様子  
(佐久市立中佐都小学校)



地域の防災訓練で避難者の受付を実施  
(飯田市立鼎中学校)

### (3) リーダーシップ・トレーニングセンターの開催

青少年赤十字メンバー（児童・生徒）のリーダーシップ養成を目的とした「リーダーシップ・トレーニングセンター」については、小学校・中学校の部、高等学校の部を開催しました。参加した児童・生徒は、赤十字思想に触れながら、自主・自律の心を養いました。

区分	開催日	場所	参加校数 (校)	参加児童 ・生徒数(人)
小学校	令和6年8月7日～8日	長野県支部	3	7
中学校	8月7日～8日		1	3
高等学校	8月5日～6日		4	11
合 計			8	21



避難所の設営  
(小学校・中学校の部)



フィールドワーク  
(高等学校の部)

### (4) 主な事業実施状況

内 容	実施日	場 所
青少年赤十字指導者協議会総会	令和6年5月24日	長野県支部 (参集・Web)
第3回青少年赤十字指導者協議会長研究会	6月14日	Web 形式
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	7月12日	本社
青少年赤十字研究推進校発表会	7月19日	佐久市立 中佐都小学校
青少年赤十字指導者協議会役員会	12月19日	Web 形式
青少年赤十字指導者協議会研修会	令和7年2月14日	Web 形式

## 5 救急法等の講習 今、できることがある

「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命に基づき、とっさの手当てや日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行うため、地区分区やボランティア等のご協力のもと、県内各地で各種赤十字講習を開催しています。

県民の救命率と健康・安全意識の向上への貢献として、AED を含む一次救命処置やけがの予防と応急手当を普及するための救急法講習会をはじめ、令和6年度は、水の事故防止と事故に遭った際の対処や救助技術の普及のため水上安全法救助員の養成に取り組みました。

### 救急法



事故防止や手当の基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた電気ショック、止血の仕方、災害時の心得等の知識と技術を習得できます。

### 水上安全法



水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を習得できます。

### 幼児安全法



乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術を習得できます。

### 健康生活支援講習



誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け、役立つ介護技術を習得できます。

#### (1) 各種講習会の開催状況

講習区分		資格者の養成			短期講習		計	
		実施(回)	受講者数(人)	養成者数(人)	実施(回)	受講者数(人)	実施(回)	受講者数(人)
救急法	基礎講習	51	1039	1033	492	11, 540	582	13, 346
	救急員養成	39	767	764				
水 上 安 全 法	I	1	13	12	0	0	2	17
	II	1	4	4				
健康生活支援講習		3	41	41	28	790	31	831
うち 災害時高齢者生活支援		—	—	—	26	739	26	739
幼 児 安 全 法		6	102	102	55	971	61	1073
合 計		101	1966	1956	601	14, 040	702	16, 006

## (2) 支部主催の各種講習会

講習区分		開催日	場所	受講者数(人)
救急法	基礎講習	令和6年4月13日	大町市	24
		5月26日	松川町	28
		6月1日	木曽町	5
		6月2日	南県町	27
		6月22日	松本市	27
		10月5日	塩尻市	14
		11月9日	上田市	28
		11月17日	岡谷市	30
		12月1日	南箕輪村	20
		令和7年2月2日	長野市	20
水上安全法	救急員養成講習	令和6年4月20日、21日	大町市	16
		6月1日、2日	松川町	16
		6月2日、16日	木曽町	3
		6月8日、9日	南県町	22
		6月29日、7月6日	松本市	21
		10月6日、12日	塩尻市	10
		11月16日、17日	上田市	20
		11月23日、24日	岡谷市	25
		12月7日、8日	南箕輪村	20
		令和7年2月15日、16日	長野市	20
健康生活支援講習	救助員I養成講習	令和6年9月22日、23日 9月29日	長野市	12
	救助員II養成講習	令和6年8月11日、12日	信濃町	4
幼児安全法	支援員養成講習	令和6年9月7日、8日	安曇野市	7
		10月19日、20日	飯山市	4
	短期講習	令和6年6月15日	安曇野市	20
		7月4日	諏訪市	4
		9月27日	飯山市	20
	支援員養成講習	令和6年10月26日、27日	安曇野市	4
		11月16日、17日	飯山市	9
	短期講習	令和6年6月15日	安曇野市	20
		7月13日	諏訪市	11
		7月20日	飯山市	20

### (3) 救急法の普及

AED の使い方を含む一次救命処置をはじめ、病気やけがの予防と応急手当を普及するため実技を重視した講習会を県内各地で開催しました。

### (4) 水上安全法救助員の養成

水の事故の未然防止および救急時の対応力向上を目的に水上安全法救助員の養成に取り組みました。

ア 水上安全法救助員Ⅰ（基本的な救助技術を学ぶ講習）

イ 水上安全法救助員Ⅱ（救助員Ⅰ修了者を対象に自然環境下で高度な救助技術を学ぶ講習）



水上安全法救助員Ⅰ養成講習（プール）



水上安全法救助員Ⅱ養成講習（野尻湖）

### (5) 講習指導員研修の開催

各種講習普及を支える指導員の資質向上と指導体制の強化を目的に指導員研修を実施しました。研修では、指導に必要な最新の知識や技術の伝達のほか、グループワークを通じて「指導員のあり方」等について意見交換を行うことで、指導意識の向上を図りました。

講習科目	開催日	場所	受講者数(人)
救急法	令和7年3月8日、11日 12日、14日	長野市 諏訪市 安曇野市	165
健康生活支援講習	令和7年1月25日	諏訪市	55
幼児安全法	令和7年2月22日	長野市	46

## 6 医療事業 質の高い医療の提供を

赤十字病院は、医療法における公的医療機関として、救急医療や癌などの高度専門医療、生活習慣病の予防や高齢社会での在宅医療、へき地医療を積極的に行うなど、地域に根ざした医療を提供するとともに、安全・安心な医療環境を確保するための様々な取り組みを実施しています。

令和6年度は、さらなる医療の質の向上と業務効率化、ならびに持続可能な医療提供体制の構築のため、医療DX化の推進に取り組みました。

### (1) 患者受入数

病院	入院患者数(人)		外来患者数(人)		救急患者数(人)			
	延人数	1日平均	延人数	1日平均	時間内	時間外	深夜	合計
長野	209,296	573	336,893	1,392	2,841	11,018	3,071	16,930
諏訪	149,463	409	225,927	933	5,990	8,456	2,179	16,625
安曇野	90,091	246.8	104,384	431	3,894	2,899	935	7,728
飯山	72,458	198	69,896	288	4,437	1,345	404	6,186
下伊那	26,311	72	55,584	228	211	188	85	484
川西	24,228	66	11,863	49	141	381	17	539
合計	571,847	1,565	804,547	3,321	17,514	24,287	6,691	48,492
(前年度)	(554,106)	(1,513)	(817,363)	(3,375)	(15,860)	(25,576)	(6,573)	(48,009)

### (2) 主な施設の整備状況

病院	整備状況
長野	発熱外来用待合プレハブ（北側駐車場設置）、ダヴィンチ増設に伴う手術室改修工事、病棟車いすトイレ改修工事、ベッドパンウォッシャー（6台）
諏訪	中央監視装置更新（段階2/2）、救急外来プレハブ（感染症対応備品保管等用）2棟更新、4階及び7階2病室陰圧工事、7階東西病棟間扉設置工事、病院及び看護学校残蛍光灯LED化工事、病院内上水節水コマ導入工事 等
安曇野	簡易陰圧装置設置工事（病棟・外来）、個人防護具備蓄倉庫空調・電気工事、歯科口腔外科外来改修工事
飯山	内視鏡室パーテーション工事、消雪用井戸洗浄工事、防火設備改修工事、空調機改修工事、非常用発電機始動用バッテリー交換工事、モジュールチラー基盤冷却ファン交換工事、病棟浴室・車椅子トイレ紐付きナースコール設置工事、R0水製造装置更新、医局書架システム
下伊那	厨房改修工事、食器洗浄機更新、検体採取室設置、簡易陰圧装置（2室）
川西	LED照明工事

## (3) 主な医療機器等の整備状況

病院	整備状況
長野	ダヴィンチ Xi (手術台システム、E-200 ジェネレーター、ダヴィンチ X 買取)、デジタルマンモグラフィシステム (マンモトーム)、過酸化水素低温プラズマ滅菌装置、メラ血液遠心ポンプシステム (2台)、外科用 X 線撮影装置、眼科用手術顕微鏡システム・前眼部 OCT、超音波診断装置、血液浄化装置・多用途透析用監視装置更新 (6台)、体外式結石破碎装置更新、Qスイッチルビーレーザー、血液培養自動分析装置、全自动遺伝子解析装置、リアルタイム PCR システム、VPP 内視鏡システム更新、一般病室用ベッド更新 (60台)、セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ更新 (8台) 等
諏訪	電子カルテシステム及び部門システム更新、医師等用スマホ導入、自動精算機、診断用 X 線撮影装置・FPD 装置、熱傷ベッド、高压蒸気滅菌装置、無影灯+術野カメラ、血液浄化装置、生体情報モニタリングシステム、PCR 検査装置、除染シャワーテント、電動ベッド、職員用カプセルベッド 等
安曇野	磁気共鳴断層撮影装置(MRI)、離床センサー付電動リモートコントロールベッド、クラウド型医用画像管理システム、経皮的心肺補助循環装置、呼吸機能検査装置、血液ガス分析装置、自動採血管準備装置・採血業務および総合受付システム、心電・呼吸・SpO2 モニター送信機、手動式除細動器、多用途透析用監視装置、整形外科用手術ドリル、整形外科手術用神経機能検査装置、可搬式歯科用ユニット、歯科診療ユニット、自動遺伝子解析装置、外来用陰圧装置
飯山	超音波画像診断装置 (2台)、多項目自動血球分析装置、全自动血液凝固測定装置、全身用 X 線骨密度測定装置、血液ガス分析装置、全自动輸血検査装置、便潜血測定装置、温冷配膳車、クリーンベンチ、電動ベッド (24台)、医用テレメータ (2式)、気道管理トレーナ、薬用冷蔵ショーケース (4台)
下伊那	電子カルテシステム導入、デジタル X 線透視診断装置、PCR 検査機器、電動ベッド (9台)、スケール付電動ベッド (1台)
川西	電子カルテシステム導入、電子処方箋、SPD システム、薬用冷蔵ショーケース (2式)

## ア 長野赤十字病院 手術支援ロボット (ダヴィンチ) の2台体制

新たに2台目のダヴィンチを導入し、高度医療のニーズに応える体制を整備したことにより、泌尿器科、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科の分野におけるロボットの手術枠が増え、より多くの患者対応ができるようになりました。



機器名	ダヴィンチ Xi	ダヴィンチ X
整備年月日	令和6年 9月28日	令和6年 12月22日
金額 (形態)	178,000千円 (リース)	19,470千円 (買取り)

## イ 諏訪赤十字病院 電子カルテシステム及び部門システムの更新

現有電子カルテシステムの更新にあわせ、医療 DX の観点からサイバーセキュリティ対応の強化を図るとともに、麻酔管理システムを導入したことにより、医療の質や業務効率化の向上を図りました。

機器名	電子カルテシステム及び部門システム
整備年月日	令和6年9月23日 (本体)
充当財源	1,547,836千円 (自己資金) ※プリンタ費用はスマートチャージ化によるランニングコスト計上にて除外

## 7 看護師養成 すべての人に寄り添う心を

諏訪赤十字看護専門学校では、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命に基づき、豊かな人間性を育みながら看護に関する幅広い能力を備え、保健医療や国内外の医療救援活動など広く社会に貢献できる赤十字看護師を養成しています。

災害を想定した救護演習や赤十字救急法の習得、諏訪赤十字病院での臨床実習を通じた実践的な看護学の学習のほか、「赤十字活動論」など看護の中で人権や人間の尊厳について考える赤十字ならではの特色ある教育を行っています。

### (1) 諏訪赤十字看護専門学校

諏訪赤十字看護専門学校(大正 12(1923)年開校)は、これまでに 2,763 人の卒業生を輩出し全国各地の医療・福祉の現場で活躍しています。令和 6 年度は新入生として 31 人の学生を迎えるました。また、卒業生は全員国家試験に合格(8 年連続で合格率 100%)し、県内外の赤十字施設に就職しました。



戴帽式



看護学生による災害救護演習



臨床による授業



卒業式

### (2) 日本赤十字豊田看護大学の支部長推薦

令和 6 年度入学生として長野県支部からの推薦者 2 人が、中部圏で唯一の赤十字看護大学である日本赤十字豊田看護大学(愛知県豊田市)に合格しました。

また、令和 6 年度に看護師養成課程を修了した 6 人が、諏訪赤十字病院に就職しました。

日本赤十字豊田看護大学卒業生の県内赤十字病院への就職状況（累計） (単位：人)

長 野	諏 訪	安曇野	飯 山	下伊那	累 計
39	48	12	14	3	116

## 8 血液事業 献血で助かる命のために

赤十字血液センターでは、病気やケガで輸血を必要とする人のため、皆さんに献血のご協力をお願いするとともに、検査・製剤化された血液を医療機関へお届けしています。

献血された血液は、血液型検査や各種感染症検査を行った後、厳重な品質管理のもと、安全性の高い輸血用血液製剤として24時間体制で医療機関に供給しています。

また、少子高齢化が進む中、将来にわたり血液を安定確保するため、若年層への献血を呼びかけ、献血の理解と意識向上のための献血セミナー及び研修を積極的に開催するとともに、「ラブラッド会員制度」を活用した事前予約献血の推進により、効率的で効果的な事業運営に取り組んでいます。

### (1) 血液センター別の献血者数

(人)

区分	長野センター	献血ルーム (長野)	献血ルーム (松本)	松本事業所	合計
目標人数	17,155	22,035	21,361	15,510	76,061
献血種別	200mL	136	472	502	72 1,182
	400mL	16,816	9,098	8,298	15,731 49,943
	成分	0	12,924	11,820	0 24,744
献血者数計	16,952	22,494	20,620	15,803	75,869
達成率 (%)	98.8	102.1	96.5	101.9	99.7
前年度献血者数	16,725	22,389	20,580	15,976	75,670

### (2) 献血 Web 会員サービス「ラブラッド」

「ラブラッド」は日本赤十字社と献血者をつなぐ、会員サービスです。血液センターでは、安全性の高い血液製剤を迅速かつ安定的に供給するため、献血にご協力いただいた皆さんに「ラブラッド」への入会を案内し、電子メールで次回の献血可能日やキャンペーン等をお知らせしています。

献血ご協力の際は **ラブラッド** で  
便利なWeb予約と事前問診をご利用ください

**ラブラッドの便利な機能**

- ◆ 予約と事前問診で**時間短縮!**
- ◆ ラブラッドポイントで**記念品と交換!**
- ◆ 検査結果を**Web上で閲覧!**
- ◆ アプリ版**ラブラッド** なら**献血カード不要!**

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」 <https://www.kenketsu.jp/>

### (3) 原料血漿の確保

血漿分画製剤を含むすべての血液製剤を国内献血によって確保するため、厚生労働省から示された目標量の確保に努めています。

#### (4) 学生献血キャンペーンの開催

長野県学生献血推進連盟「結（ゆい）」が、県内の商業施設において献血サマーキャンペーン（7月）及びクリスマスキャンペーン（12月）を行いました。街頭で若年層献血への協力を広く呼びかけるとともに、献血に協力いただいた皆さまへ記念品を贈呈する等のボランティア活動に取り組みました。



サマーキャンペーン（イオンスタイル上田）



クリスマスキャンペーン（アピタ飯田店）

#### (5) 若年層への献血推進

少子高齢化等の影響により献血可能人口の減少とともに、若年層（10～30歳代）の献血者が減少しています。このような状況の中、上田染谷丘高等学校の生徒が「献血で幸せを広め隊」を結成し、血液センター主催の献血セミナーの受講後、献血の意義やしくみを学んだ上で、文化祭で献血バスを招致し、広報と呼びかけを行いました。当日は58人の受付者の中45人の若年層の方に協力を得ることができました。また、献血会場の様子などInstagramに投稿し、SNSを通じて若年層の献血参加促進に取り組みました。



上田染谷丘高校生の献血セミナー



Instagramへの投稿

## 9 社会福祉事業 安心で元気な社会を目指して

松本赤十字乳児院では、様々な事情によって家庭養育ができない乳幼児を対象に、年間を通じて養育を実施しています。また令和6年7月に開設した里親支援センター「ひまわり」では、児童が家庭と同じように、安心して健やかに生活するための里親制度の普及促進にも取り組んでいます。

このほか、乳児院が備えている専門的機能を活かして、地域の子育て家庭をサポートする各種子育て支援事業も行っています。

### (1) 里親支援センター「ひまわり」の開設

長野県の指定を受けて7月1日に開設（全国の赤十字乳児院第一号）しました。里親の募集・マッチング・児童委託後の支援に至るまで一貫した支援に取り組みました。所管3市（松本、安曇野、塩尻）を中心とした広報活動の実施及び「信州松本圏域・新しい育みプロジェクト」への参画により、関係自治体や児童相談所などと緊密に連携しながら里親制度の普及・促進に努めました。

### (2) 松本赤十字乳児院 年間事業概要

#### ア 制度別利用状況（入所定員15人）

制度	実入数 (人)	延日数 (日)
入 所	19	4,086
一 時 保 護	10	424
ショートステイ	47	165
合 計	76	4,675



電車ごっこで遊ぶ子どもたち

#### イ 入所乳幼児の年間理由別入所者数 (人)

虐待	家族疾病	家庭環境	未 婚	児疾病	家 出	その他の	合 計
7	7	5	0	0	0	0	19

#### ウ 事業実施状況

事業内容	開催回数 (回)	参加人数 (人)
マタニティ教室	0	0
わくポケ親子広場	9	28
里親交流会	8	48
養育支援訪問	107	107
里親相談会	9	105



各地で里親相談会を開催しました

## 10 活動資金の募集 救うを託されている

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動は、県民の皆さまからご寄付いただく活動資金が財源であり、その募集は、地区分区をはじめ、各地域における自治会・町内会や協賛委員、奉仕団員の協力によって支えられています。

長野県支部では、活動資金の募集にあたって、戸別訪問を基本に赤十字活動をご理解いただけるよう広報チラシを作製して配布するとともに、利便性の高い口座振替やクレジットカード決済による募集を実施したほか、ダイレクトメールの送付や法人訪問による協力依頼を行いました。

また、赤十字活動の理解促進とご協力への感謝を伝えるため、「活動資金御礼・報告チラシ」を作製し、地区分区を通じて、県民の皆さまへ配布しました。250,855人・社から、総額438,525,174円（施設指定分を含む）のご寄付をいただきました。

### （1）支援者の状況

（令和7年3月31日現在）

個人	法人	合計
245,538人	5,317社・団体	250,855

### （2）ダイレクトメールの発送

発生が懸念される大規模災害に備え、救護体制の一層の強化を図るとともに、救護資機材や救援物資の整備を推進するため、ダイレクトメールを送付し、赤十字活動資金へのご協力ををお願いしました。

応諾状況	個人	法人	合計
協力者	185人	258社・団体	443
総額	36,278,160円	12,029,491円	48,307,651円

救護班用リチウムイオン蓄電池や備蓄用のタオルケットなどを整備することができました。



リチウムイオン蓄電池



タオルケット

## (3) 日赤活動資金の募集実績

区分	目標額 (千円)	実績額 (円)	市町村受付	実績額内訳 (円)			前年度実績額 (円)
				口座振替	クレジットカード	DM	
長野市	54,018	43,378,898	42,183,137	657,000	538,761		45,265,531
松本市	35,714	21,902,119	21,160,119	332,000	400,000	10,000	23,073,357
上田市	21,249	11,408,349	10,978,349	87,000	228,000	115,000	11,125,950
岡谷市	6,366	6,142,668	5,936,133	7,000	127,535	72,000	6,203,510
飯田市	12,787	13,735,705	13,635,705	55,000	45,000		13,928,299
諏訪市	7,231	7,211,571	5,906,771	105,000	160,800	1,039,000	7,097,356
須坂市	6,465	4,764,757	4,575,757	50,000	106,000	33,000	4,716,112
小諸市	5,858	5,488,473	5,248,473	218,000	22,000	-	5,609,375
伊那市	9,064	7,280,334	6,926,806	53,000	108,528	192,000	7,391,699
駒ヶ根市	4,443	3,263,822	2,988,481	30,000	57,000	188,341	3,413,950
中野市	5,543	5,758,303	5,680,303	50,000	28,000	-	5,773,022
大町市	3,459	3,068,250	2,944,250	114,000	10,000	-	3,212,550
飯山市	2,341	1,963,052	1,913,052	-	50,000	-	1,912,867
茅野市	7,951	5,060,846	4,906,846	18,000	136,000	-	5,082,272
塩尻市	9,355	6,980,900	6,077,900	512,000	391,000	-	6,936,480
佐久市	13,292	11,253,995	10,834,995	291,000	128,000	-	11,344,936
千曲市	7,215	10,850,720	10,728,720	28,000	54,000	40,000	10,834,890
東御市	3,676	3,772,410	3,716,410	27,000	29,000	-	3,835,797
安曇野市	12,044	11,930,999	11,645,999	51,000	106,000	128,000	12,331,200
小海町	576	1,392,000	1,352,000	-	40,000		1,419,500
佐久穂町	1,218	1,453,800	1,453,800	-	-		1,463,046
川上村	483	494,000	494,000	-	-		537,300
南牧村	381	246,500	246,500	-	-		332,700
南相木村	125	347,500	347,500	-	-		346,000
北相木村	95	143,500	143,500	-	-		154,700
軽井沢町	3,444	4,496,380	2,371,380	75,000	2,050,000		4,296,061
御代田町	2,261	2,687,610	2,657,610	30,000	-		2,680,030
立科町	812	1,188,400	1,188,400	-	-	-	1,208,100
長和町	698	1,236,500	1,207,500	5,000	24,000		1,236,200
青木村	483	725,400	665,400	-	60,000		669,760
下諏訪町	2,561	2,385,077	2,366,077	5,000	14,000		2,433,685
富士見町	1,863	1,792,113	1,736,113	56,000	-	-	2,145,758

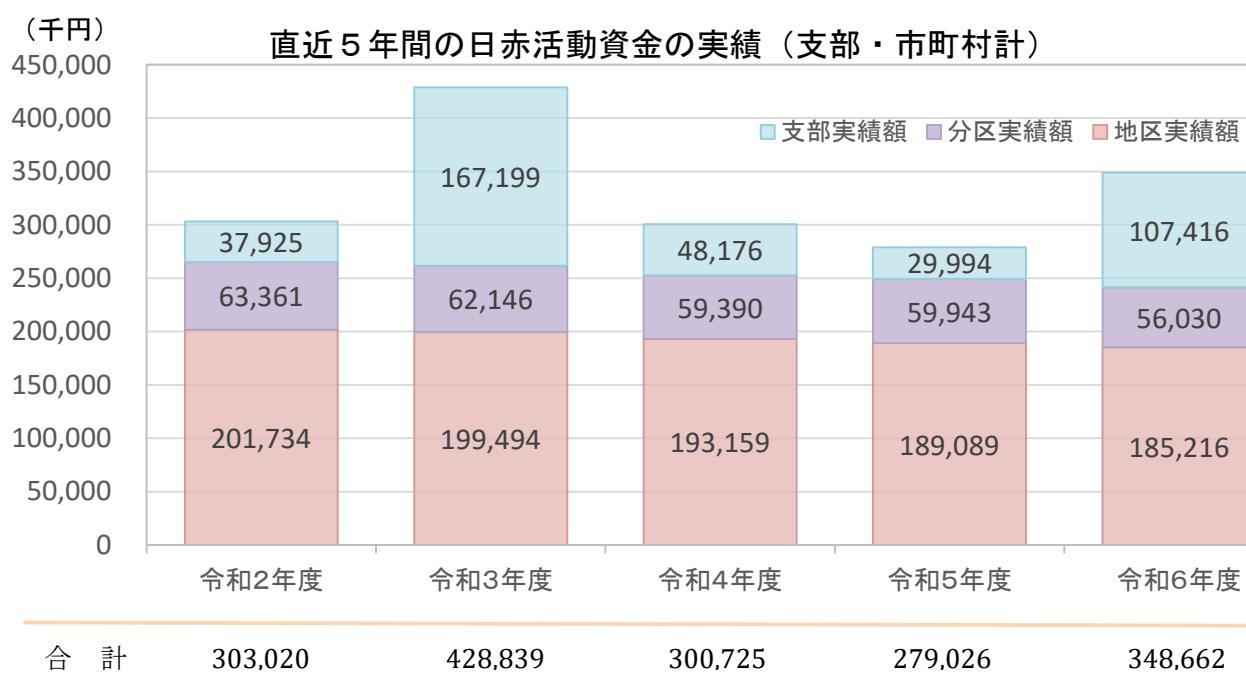
## 令和6年度 事業報告 | 活動資金の募集

区分	目標額 (千円)	実績額 (円)	実績額内訳 (円)				前年度実績額 (円)
			市町村受付	口座振替	クレジットカード	DM	
原村	1,015	839,861	827,861	-	12,000	-	931,088
辰野町	2,350	434,900	374,900	10,000	50,000		2,648,030
箕輪町	3,367	3,352,142	3,211,142	95,000	46,000		3,391,613
飯島町	1,127	2,294,918	2,230,918	-	64,000		2,283,810
南箕輪村	2,283	1,646,700	1,607,700	-	39,000		1,644,458
中川村	536	695,523	695,523	-	-		729,001
宮田村	1,166	1,467,800	1,455,800	-	12,000		1,497,400
松川町	1,467	1,486,500	1,447,500	-	39,000	-	1,504,000
高森町	1,478	919,054	919,054	-	-	-	989,045
阿南町	455	553,714	553,714	-	-		571,199
阿智村	679	851,548	846,548	-	5,000		893,602
平谷村	57	46,000	46,000	-	-		38,000
根羽村	115	161,296	161,296	-	-		150,000
下條村	362	582,600	582,600	-	-		617,800
壳木村	74	125,230	125,230	-	-		139,130
天龍村	157	293,000	293,000	-	-		290,500
泰阜村	179	262,500	262,500	-	-		256,000
喬木村	635	731,650	731,650	-	-		775,000
豊丘村	724	508,805	508,805	-	-		461,608
大鹿村	147	192,700	192,700	-	-		197,700
上松町	556	1,131,930	1,131,930	-	-		1,148,850
南木曽町	493	600,900	600,900	-	-		689,400
木曽町	1,443	1,569,324	1,569,324	-	-	-	1,691,892
木祖村	313	369,800	369,800	-	-		375,500
王滝村	110	216,984	216,984	-	-		248,400
大桑村	448	589,520	589,520	-	-		625,801
麻績村	280	302,350	302,350	-	-		305,251
生坂村	202	301,850	301,850	-	-		319,500
山形村	1,035	222,500	220,500	-	2,000		414,978
朝日村	479	551,102	551,102	-	-	-	533,950
筑北村	513	717,510	717,510	-	-		729,360
池田町	1,129	1,256,710	1,238,710	18,000	-		1,293,350
松川村	1,150	1,250,570	1,234,570	-	16,000	-	1,245,600

令和6年度 事業報告 | 活動資金の募集

区分	目標額 (千円)	実績額 (円)	実績額内訳 (円)				前年度実績額 (円)
			市町村受付	口座振替	クレジットカード	DM	
白馬村	1,131	600,200	520,200	2,000	48,000	30,000	925,072
小谷村	349	636,550	636,550	—	—	—	711,800
坂城町	2,027	2,749,002	2,733,002	—	16,000	—	2,862,900
小布施町	1,251	811,964	736,964	75,000	—	—	673,580
高山村	813	632,000	632,000	—	—	—	662,500
山ノ内町	1,337	1,486,371	1,468,371	18,000	—	—	1,478,283
木島平村	479	395,730	395,730	—	—	—	408,288
野沢温泉村	354	383,937	383,937	—	—	—	422,094
栄村	199	271,500	271,500	—	—	—	254,500
信濃町	972	1,123,975	1,118,975	—	5,000	—	1,119,425
飯綱町	1,204	1,498,512	1,494,512	4,000	—	—	1,536,124
小川村	289	323,700	323,700	—	—	—	335,020
市 計	228,071	185,216,171	177,988,206	2,685,000	2,725,624	1,817,341	189,089,153
町村計	51,929	56,029,712	53,064,712	393,000	2,542,000	30,000	59,943,242
市町村計	280,000	241,245,883	231,052,918	3,078,000	5,267,624	1,847,341	249,032,395
支部扱		107,416,295	—	—	—	—	29,994,349
指定事業海外救援金		—	—	—	—	—	1,573,489
小 計(①)		348,662,178	231,052,918	3,078,000	5,267,624	1,847,341	280,600,233

施設扱計(②)	—	89,862,996	—	—	—	—	44,030,230
合 計(①+②)	—	438,525,174	—	—	—	—	323,056,974



## (4) 表彰

日赤活動資金へのご協力や赤十字事業の進展に尽くされた方を表彰しました。

表彰区分		表彰基準		個人 (人)	法人 (社・団体)	合計	
活動資金		紺綏褒章		500万円以上 (個人)	4	0	4
				1,000万円以上 (法人)			
		厚生労働大臣感謝状		100万円以上	5	3	8
				500万円未満 (個人)			
				300万円以上			
		社資功労感謝状		1,000万円未満 (法人)			
				金色有功章受章後 50万円以上	12	21	33
役 職	有 功 章	金色	50万円以上		18	6	24
		銀色	20万円以上		27	10	37
	小 計				66	40	106
協賛委員	有 功 章	金色	在職年数 6年以上 ほか		2	0	2
		銀色	在職年数 3年以上 ほか		1	0	1
	小 計				3	0	3
	有 功 章	金色	在職年数 10年以上		0	0	0
		銀色	在職年数 5年以上		0	0	0
	小 計				0	0	0
奉仕団員等 奉仕者	業務功労感謝状		金色有功章受章後 活動年数 10年以上		0	0	0
	有 功 章	金色	活動年数 20年以上		5	0	5
		銀色	活動年数 15年以上		7	0	7
	小 計				12	0	12
献血者	厚生労働大臣表彰状		活動年数 30年以上 (個人) 活動年数 20年以上 (団体) 成分献血、400ml 献血の推進		0	2	2
	厚生労働大臣感謝状		活動年数 20年以上 (個人) 活動年数 10年以上 (団体)		0	7	7
	県献血推進協議会長表彰		献血思想の普及等が顕著な 個人・団体		1	9	10
	有 功 章	金色	献血回数 100回以上		117	0	117
		銀色	献血回数 70回以上		183	0	183
	小 計				301	18	319
	合 計				382	58	440

## (5) 地区间事務担当者との連携強化

支部と地区分区の円滑な連携と意思疎通を図るとともに、双方が一体となって活動資金の確保に取り組むため、新たに日赤事務新任担当者向けの研修を開催したほか、地区分区主催の募集会議への出席、地区分区の担当課長及び担当者との会議を開催、地区分区へ訪問するなど、各地域の実情や課題など状況把握と共有に努めました。

区分	開催日	会場	参加人数
〔新〕地区分区 新任事務担当研修	令和6年4月11日	WEB形態	36
地区分区 事務担当課長会議	令和6年12月13日	長野県支部	38
地区分区 事務担当者会議	令和7年2月17日 20日 27日 3月3日 4日	長野県支部 佐久穂町生涯学習館 塩尻総合文化センター 伊那市防災コミュニティセンター 飯田合同庁舎	72

## (6) 広報活動

赤十字事業へのご協力と活動資金を確保するためには、赤十字への理解を深めていただくことが必要であることから、5月の赤十字運動強化月間に合わせ、赤十字活動の広報を重点的に行ってています。

### ア 赤十字広報強化期間（4～9月）

#### (ア) テレビCMの放映

放送局：テレビ信州（TSB）、長野朝日放送（ABN）、信越放送（SBC）、長野放送（NBS）



CM「赤十字は、動いてる！」

#### (イ) テレビ番組への出演

放送局	番組名	放送時間
長野放送（NBS）	ふるさとライブ	令和6年9月17日（木）15:20～15:40
長野朝日放送（ABN）	いまドキ！	12月25日（水）13:45～13:54

#### イ 赤十字施設におけるイベント

県内赤十字施設では、5月8日（世界赤十字デー）や5月12日（看護の日）を中心に病院祭や健康まつりなどのイベントを開催し、広く一般の方々に赤十字事業へのご理解とご協力を求めるとともに、地域住民との交流や健康に役立つ各種講座を実施しました。

#### ウ 各種広報資材の配布

赤十字広報強化月間に集中的な広報を行うため、地区分区のご協力により「全戸配布チラシ」の配布や「赤十字運動用ポスター」の掲示を行いました。

また、令和6年度に作成している「活動資金御礼・報告チラシ」をご協力いただいた皆さん等へ配布しました。

資材名	配布数(部)
全戸配布チラシ	735,000
赤十字運動用ポスター	2,500
リーフレット	11,000
活動資金御礼・報告チラシ	63,000



#### (7) 長野県支部広報委員会の設置

全戸配布チラシ 活動資金御礼・報告チラシ

支部及び県内赤十字施設が相互に連携し、より効果的な広報活動を推進するため「長野県支部広報委員会」を新たに設置し、施設横断的な広報活動に取り組みました。

#### (8) 長野県支部ホームページ

より多くの方々に赤十字をご理解いただくため、ホームページを活用しました。

なお、主な掲載内容は次のとおりです。

- ・ 赤十字事業の紹介及び新着情報
- ・ 救急法等講習会の情報
- ・ 講習会指導員向け情報
- ・ 地区分区事務局向け情報
- ・ 青少年赤十字指導者向け情報
- ・ 義援金、救援金の募集情報



長野県支部ホームページ

#### (9) 長野県赤十字歴史資料館

長野県赤十字歴史資料館には、県内外から多くの方々にご来館いただいています。

平成20年4月の開館以来、令和7年3月31日までの来館者は、10,618人を数えています。



長野県赤十字歴史資料館



#### 長野県赤十字歴史資料館

明治10(1877)年、博愛社として設立された日本赤十字社は、各県に「支部」の設置に取り組み、長野県では明治22(1889)年、県庁内に支部を設置後、明治32(1899)年には、現在の地に事務所を建設し、赤十字思想の普及と事業拡大の拠点としました。当時の支部事務所の大部分は、老朽化により平成19(2007)年に取り壊しましたが、赤十字の礎を築いた「救護看護婦」を戦地へと送り出した「正面玄関」と「支部長室」を改修・保存し、解体した建物の屋根瓦・ガラス窓等を再利用して、建設当時の姿を出来る限り復元しました。貴重な資料を展示し、先人の偉功を後世に伝えています。

## 11 企業・団体とのパートナーシップ

日本赤十字社は、「人のいのちと健康、尊厳を守る」活動を共に推進くださる企業・団体等のパートナーを求めていきます。企業・団体の社会貢献に対するご意向を尊重し、さまざまな形態でご協力いただいている。

### (1) 長野マラソン大会

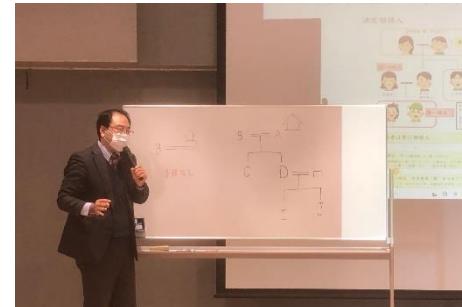
長野マラソン大会組織委員会と日本赤十字社長野県支部は、ボランティア精神の醸成や社会貢献活動に関するパートナーシップ協定を締結しています。また、毎年、大会には赤十字PRブースを設けていただくなほか、参加料に寄付を上乗せするチャリティーエントリーを企画いただき、赤十字の活動資金として、ご寄付をいただいている。



チャリティエントリー寄付贈呈

### (2) 長野県司法書士会

前年度に引き続き長野県司法書士会との共同により相続・遺言セミナーを開催しました。令和6年度は、新たに長野地方法務局から講師をお招きして「知ってほしい思いをかなえる遺言や相続のしくみ」と題し、県内2会場（長野市・松本市）で行いました。相続や遺言書の作成に対し興味のある方、漠然と不安をお持ちの方の一助となる内容としました。



セミナー（松本会場）

#### 《セミナーのプログラム》

内 容	講 師
第1部 相続・遺言の基礎知識	長野県司法書士会 理事 丸田 裕次郎氏（松本会場） 司法書士 嶋村 伸吾 氏（長野会場）
第2部 土地と家の相続と遺言について ～遺言書は残した方がいいの？～	長野地方法務局 供託課長 三原 俊夫 氏
第3部 日本赤十字社の活動と遺贈寄付等のご案内	支部職員

### (3) 長野県内の経済団体

長野県経営者協会や長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会など、県内の経済団体にご協力いただき、幅広い広報活動や募集に取り組みました。会報誌に赤十字をPRする広告を掲載いただいたほか、会議において、赤十字活動の説明やご寄付をお願いする時間をいただくなど、各会員の皆様への広報にご協力いただきました。



#### (4) 公益社団法人 長野県柔道整復師会

例年、当支部に活動資金をご寄付いただくほか、赤十字活動の実践として結成した長野県柔道整復師会赤十字奉仕団が、長野県赤十字救護隊と合同で災害救護のための研修に取り組んでいます。

また、令和6年度は、「長野びんづる」の臨時救護所の運営にもご協力いただきました。



#### (5) 長野県赤十字有功会

日本赤十字社に対し、寄付や活動を通じて多大な貢献をされた「有功章受章者」の有志により、平成6年3月に設立された、赤十字事業の伸展に協力する支援団体です。令和6年度末の会員数は、個人112人、法人・団体76社・団体を数えています。

##### ア 総会の開催

5月28日、長野県赤十字有功会総会が開催され、令和6年度事業計画及び収支予算等を審議しました。

また、関昇一郎副支部長（長野県副知事）から多額のご寄付をされた方々に有功章等の表彰を伝達するとともに、職員から能登半島地震災害にかかる長野県支部の災害救護活動及び本社の国際活動について、説明を行いました。



受賞された皆さん

##### イ 研修旅行

11月28日～29日、会員の研修と相互の親睦・交流を兼ねて、浅井会長はじめ有功会員等21人が、日本赤十字社本社及び東京都内の赤十字ゆかりの地を訪問しました。

日本赤十字社本社では、清家社長との懇談の機会を設けられ、利他性がウィルビーイングにつながることなど、様々なお話を伺い、赤十字に対する支援の理解を深めることができました。



清家社長との記念撮影（本社）



初代副社長 大給 恒公墓所（祥雲寺）

## 12 事業実施体制 より信頼される赤十字へ

### (1) 評議員会

評議員会において、次のとおり議案が審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

ア 令和6年6月18日

第1号議案 令和5年度事業報告について

第2号議案 令和5年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算について

第3号議案 日本赤十字社長野県支部副支部長の選出について

イ 令和7年2月10日

第1号議案 令和7年度事業計画（案）について

第2号議案 令和7年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算（案）について

第3号議案 令和6年度一般会計歳入歳出補正予算（案）について

第4号議案 日本赤十字社代議員の選出について

第5号議案 日本赤十字社長野県支部監査委員の選出について

### (2) 郡市地区及び町村分区事務担当課長会議

県内各地域における翌年度の赤十字事業の指針となる事業計画（案）及び予算（案）を協議するため、令和6年12月13日に開催しました。

### (3) 職員の人材育成

社会人・組織人に求められる姿勢や態度、ビジネスマナーの基礎知識を習得することを目的に、新たに県内赤十字施設の事務系総合職員を対象とする新規採用職員研修を実施するとともに、職員の成長を支援する仕組みとして、4つの階層別研修を実施し、職位に応じて期待される役割の理解や職務遂行能力の向上をはかりました。所属する施設や職種の異なる職員が一堂に会することで、同じ立場で抱える悩み等を共有できる交流の機会にもなりました。

また、全ての研修において、赤十字活動の歴史やしきみ、コンプライアンス意識を高めるプログラムも取り入れ、赤十字職員としての自覚を促す研修としました。

### (4) 監査委員監査

評議員会で選出された監査委員により、支部及び施設の業務管理及び執行並びに会計監査を実施しました。

## 13 監査報告

支部及び県内赤十字施設の令和6年度事業にかかる監査委員監査を、次のとおり実施しました。

監査委員	牛越 徹	柳澤 勇	原 修二
------	------	------	------

施設名	実施年月日
長野赤十字病院	令和7年5月26日
諏訪赤十字病院	5月23日
安曇野赤十字病院	5月29日
飯山赤十字病院	5月30日
下伊那赤十字病院	5月29日
川西赤十字病院	5月26日
松本赤十字乳児院	5月30日
長野県赤十字血液センター	5月23日
日本赤十字社長野県支部	5月30日

令和元年度決算から三様監査（①監査委員による監査②監査法人が会計監査を行う外部監査③本社監査室による内部監査）が実施されています。

令和 6 年度 一般会計歳入歳出決算報告書  
(長野県支部)

## 令和6年度一般会計歳入歳出決算報告書

歳 入

(単位:円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
<b>2 支部収入</b>	<b>608,092,000</b>	<b>607,181,057</b>	<b>384,183,258</b>	<b>222,997,799</b>	
<b>1 活動資金収入</b>	<b>438,349,000</b>	<b>438,525,174</b>	<b>324,630,463</b>	<b>113,894,711</b>	
一般活動資金		404,366,843	299,055,889	105,310,954	支部及び施設あて大口寄付の増
法人活動資金		34,158,331	25,574,574	8,583,757	支部及び施設あて大口寄付の増
					【内訳】 地区分区 231,052,918 (△ 7,922,527) 支 部 117,609,260 (+75,984,472) 施 設 89,862,996 (+45,832,766)
<b>2 委託金等収入</b>	<b>8,452,000</b>	<b>9,282,810</b>	<b>15,000</b>	<b>9,267,810</b>	
他団体等委託金収入		15,000	15,000	0	
災害等補償収入		9,267,810	0	9,267,810	令和6年能登半島地震災害にかかる災害救助費の増
<b>3 補助金及び交付金収入</b>	<b>16,045,000</b>	<b>16,835,689</b>	<b>31,866,327</b>	<b>△ 15,030,638</b>	
他団体等補助金収入		500,000	500,000	0	
管理経費調整交付金収入		558,684	568,047	△ 9,363	本社出張旅費の減
施設整備交付金収入		13,535,100	28,747,390	△ 15,212,290	施設に対する本社交付金の減
障害者雇用促進事業助成金収入		580,000	540,000	40,000	障害者雇用促進事業助成金の増
その他本社交付金収入		1,661,905	1,510,890	151,015	ITシステムにかかる本社交付金の増
<b>5 繰入金収入</b>	<b>110,000,000</b>	<b>110,042,705</b>	<b>1,649,493</b>	<b>108,393,212</b>	
災害等資金繰入金収入		110,000,000	0	110,000,000	本社通知に基づく資金積替えによる増
国際救護活動資金繰入金収入		0	1,573,489	△ 1,573,489	個人住民税控除適用海外救援金の送金にかかる資金繰入の減
本社繰入金収入		42,705	76,004	△ 33,299	海外たすけあい人件費にかかる本社繰入金の減
<b>9 資産収入</b>	<b>6,027,000</b>	<b>5,904,000</b>	<b>6,143,756</b>	<b>△ 239,756</b>	
地代収入		5,904,000	6,143,756	△ 239,756	電柱等敷地料収入及び駐車場賃借料収入の減
<b>10 雑収入</b>	<b>9,354,000</b>	<b>6,725,081</b>	<b>8,271,976</b>	<b>△ 1,546,895</b>	
講習会等負担金収入		5,679,044	7,162,536	△ 1,483,492	依頼講習の減少に伴う教材購入者の減
青少年赤十字等行事参加負担金収入		42,000	0	42,000	トレンセン参加負担金の増
雑収入		1,004,037	1,109,440	△ 105,403	職員派遣にかかる謝金収入の減
<b>11 前年度繰越金</b>	<b>19,865,000</b>	<b>19,865,598</b>	<b>11,606,243</b>	<b>8,259,355</b>	
前年度繰越金		19,865,598	11,606,243	8,259,355	

## 歳出

(単位:円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
<b>2 支部費</b>	<b>608,092,000</b>	<b>589,536,102</b>	<b>364,317,660</b>	<b>225,218,442</b>	
<b>1 災害救護事業費</b>	<b>41,898,000</b>	<b>41,059,084</b>	<b>38,011,170</b>	<b>3,047,914</b>	
災害救護指導事業費		29,051,018	19,916,250	9,134,768	令和6年能登半島地震災害にかかる施設の災害救助費
災害救護装備費		4,765,266	10,649,560	△ 5,884,294	救護装備整備品目の変更
非常災害救援物資整備費		2,233,000	2,405,700	△ 172,700	救援物資整備品目の変更
災害義援金送付金		0	0	0	
救護看護師指導養成費		5,009,800	5,039,660	△ 29,860	
<b>2 社会活動費</b>	<b>61,292,000</b>	<b>56,023,069</b>	<b>70,288,705</b>	<b>△ 14,265,636</b>	
救急法等普及費		17,811,077	26,243,842	△ 8,432,765	指導員旅費及び救急法等指導管理費
奉仕団活動費		23,993,290	24,187,883	△ 194,593	奉仕団関係会議旅費及び地域奉仕団特別補助金
青少年赤十字活動費		2,905,032	5,744,608	△ 2,839,576	青少年赤十字活動管理費
社会福祉活動費		20,604	20,604	0	
医療事業費		11,274,566	7,147,970	4,126,596	医療事業管理費
血液事業費		18,500	6,943,798	△ 6,925,298	血液事業管理費
<b>3 国際活動費</b>	<b>2,100,000</b>	<b>2,100,000</b>	<b>3,673,489</b>	<b>△ 1,573,489</b>	
国際救援事業費		1,470,000	1,470,000	0	
個人住民税控除海外救援金		0	1,573,489	△ 1,573,489	個人住民税控除適用海外救援金にかかる送金
国際開発協力事業費		630,000	630,000	0	
<b>4 指定事業地方振興費</b>	<b>1,600,000</b>	<b>1,600,000</b>	<b>3,673,489</b>	<b>△ 2,073,489</b>	
災害救護設備整備費		1,600,000	2,100,000	△ 500,000	災害救護設備整備品目の変更による減
救急医療体制整備費		0	0	0	
支部国際活動基金積立金		0	1,573,489	△ 1,573,489	個人住民税控除適用海外救援金にかかる積立金
<b>5 地区间区交付金支出</b>	<b>51,400,000</b>	<b>43,617,555</b>	<b>44,880,560</b>	<b>△ 1,263,005</b>	
事務費交付金支出		19,581,000	20,227,030	△ 646,030	地区区分における活動資金収入に伴う交付金（活動資金実績の8%）
事業費交付金支出		24,036,555	24,653,530	△ 616,975	地区区分における活動資金収入に伴う交付金（活動資金実績の10%）
<b>6 社業振興費</b>	<b>29,499,000</b>	<b>28,778,746</b>	<b>29,008,110</b>	<b>△ 229,364</b>	
社業振興費		16,422,944	15,942,109	480,835	全社会員情報システム導入にかかる設定費
広報活動費		12,355,802	13,066,001	△ 710,199	新聞広告料
<b>7 基盤整備交付金・補助金支出</b>	<b>89,920,000</b>	<b>89,918,647</b>	<b>66,173,086</b>	<b>23,745,561</b>	
基盤整備交付金・補助金支出		89,918,647	66,173,086	23,745,561	
医療施設基盤整備交付金支出		88,813,400	62,303,086	26,510,314	医療施設に対する寄付金に伴う交付金(個人住民税控除適用寄付金を除く)
血液事業基盤整備交付金支出		21,247	0	21,247	血液事業に対する寄付金に伴う交付金(個人住民税控除適用寄付金を除く)
社会福祉施設基盤整備交付金支出		1,084,000	3,870,000	△ 2,786,000	社会福祉施設に対する寄付金に伴う交付金(個人住民税控除適用寄付金を除く)

## 歳出

(単位:円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
<b>10 積立金支出</b>	<b>219,421,000</b>	<b>219,252,592</b>	<b>18,296,800</b>	<b>200,955,792</b>	
災害等資金積立金支出		38,000,000	5,000,000	33,000,000	大口寄付金の積立
施設整備準備資金積立金支出		173,891,000	5,000,000	168,891,000	大口寄付金及び退職職員人件費等の積立、本社ガイドラインに基づく資金積替え
退職給与資金特別会計積立金支出		7,361,592	8,296,800	△ 935,208	退職給与資金の積立
<b>12 総務管理費</b>	<b>40,148,000</b>	<b>38,689,343</b>	<b>39,833,851</b>	<b>△ 1,144,508</b>	
評議員会等諸費		440,038	516,468	△ 76,430	評議員会旅費
総務管理費		37,656,305	38,724,383	△ 1,068,078	退職等職員にかかる社会保険料等の負担金
監査費		593,000	593,000	0	
<b>13 資産取得及び資産管理費</b>	<b>4,337,000</b>	<b>3,633,290</b>	<b>3,744,854</b>	<b>△ 111,564</b>	
修繕費		1,379,400	990,000	389,400	歴史資料館改修工事費
損害保険料		598,063	535,533	62,530	自動車任意保険料
管理諸費		1,655,827	2,219,321	△ 563,494	支部庁舎清掃費及び樹木剪定費等
<b>14 本社送納金支出</b>	<b>64,864,000</b>	<b>64,863,776</b>	<b>46,733,546</b>	<b>18,130,230</b>	
本社送納金支出		64,863,776	46,733,546	18,130,230	活動資金収入に伴う本社送納金(指定事業寄付金を除く活動資金実績の15%)
<b>15 予備費</b>	<b>1,613,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
予備費		0	0	0	

歳入歳出差引残額（翌年度繰越額）

17,644,955

令和 6 年度 特別会計歳入歳出決算報告書  
(医療施設・社会福祉施設)

# 令和6年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位:円)

(施設名) (科 目)	長野赤十字病院	諏訪赤十字病院	安曇野赤十字病院	飯山赤十字病院	下伊那赤十字病院	川西赤十字病院	合 計
医業収益	26,671,038,090	18,464,304,076	6,447,296,608	3,866,573,028	1,210,663,281	838,474,175	57,498,349,258
医業費用	24,919,102,207	17,568,837,699	6,485,501,819	3,639,768,806	1,322,494,346	882,879,318	54,818,584,195
医療事業利益	1,751,935,883	895,466,377	△38,205,211	226,804,222	△111,831,065	△44,405,143	2,679,765,063
医業外収益	469,970,853	579,604,626	330,016,705	281,006,245	162,612,223	176,690,333	1,999,900,985
医業外費用	63,040,377	49,557,305	60,173,827	18,384,404	3,615,102	3,367,346	198,138,361
医業外利益	406,930,476	530,047,321	269,842,878	262,621,841	158,997,121	173,322,987	1,801,762,624
医療社会事業収益	14,895,420	5,092,222	13,202,730	3,507,075	190,600	38,561,882	75,449,929
医療奉仕費用	89,270,366	53,981,995	91,052,812	73,718,757	884,728	25,877,750	334,786,408
医療社会事業利益	△74,374,946	△48,889,773	△77,850,082	△70,211,682	△694,128	12,684,132	△259,336,479
付帯事業収益	133,819,776	160,475,160	52,146,185	90,029,118	208,468,008	81,718,126	726,656,373
付帯事業費用	93,016,883	204,392,980	55,553,075	82,134,851	204,050,464	57,057,239	696,205,492
付帯事業利益	40,802,893	△43,917,820	△3,406,890	7,894,267	4,417,544	24,660,887	30,450,881
特別利益	755,742	9,542,058	442,000	349,999	1	9,999	11,099,799
特別損失	3,308,435	61,465,975	1,435,424	935,340	3,725,267	37,324	70,907,765
特別利益	△2,552,693	△51,923,917	△993,424	△585,341	△3,725,266	△27,325	△59,807,966
法人税等	0	2,909,382	0	0	0	0	2,909,382
病院収益	27,290,479,881	19,219,018,142	6,843,104,228	4,241,465,465	1,581,934,113	1,135,454,515	60,311,456,344
病院費用	25,167,738,268	17,941,145,336	6,693,716,957	3,814,942,158	1,534,769,907	969,218,977	56,121,531,603
当期純利益	2,122,741,613	1,277,872,806	149,387,271	426,523,307	47,164,206	166,235,538	4,189,924,741
利益剰余金(欠損金) 累計額	13,247,517,797	8,828,257,154	△2,873,269,624	△980,681,724	353,280,397	△649,510,442	17,925,593,558

## □実質的収支について

退職給付会計の決算整理において生じる数理計算上の差異（年金債務の増減）は、国際会計基準に則って相当額を給与費の増減で処理することになっています。これは非資金性（現金の移動を伴わない）の処理であることから、当該数値（本社が指示する額）を除いた実質値を下表に示します。

数理計算上の差異 (本社指示額)	△ 2,283,612,926	△ 1,127,175,365	△ 842,463,199	△ 706,824,081	△ 199,980,617	△ 163,882,468	△ 5,323,938,656
医療事業利益【実質】	△466,176,700	△202,119,911	△859,860,323	△459,396,107	△281,322,363	△191,444,410	△2,460,319,814
当期純利益【実質】	△160,871,313	150,697,441	△693,075,928	△280,300,774	△152,816,411	2,353,070	△1,134,013,915

## 令和6年度医療施設特別会計収支決算概要

(単位:円)

(施設名) (科 目)		長野赤十字病院	諏訪赤十字病院	安曇野赤十字病院	飯山赤十字病院	下伊那赤十字病院	川西赤十字病院	合 計
医業収益	令和6年度	26,671,038,090	18,464,304,076	6,447,296,608	3,866,573,028	1,210,663,281	838,474,175	57,498,349,258
	令和5年度	25,468,238,385	19,229,279,810	6,718,753,625	3,736,564,908	1,301,479,504	788,036,910	57,242,353,142
	増 減	1,202,799,705	△764,975,734	△271,457,017	130,008,120	△90,816,223	50,437,265	255,996,116
医業費用	令和6年度	24,919,102,207	17,568,837,699	6,485,501,819	3,639,768,806	1,322,494,346	882,879,318	54,818,584,195
	令和5年度	26,250,178,320	19,373,317,084	7,033,016,996	4,444,007,309	1,531,266,279	976,466,601	59,608,252,589
	増 減	△1,331,076,113	△1,804,479,385	△547,515,177	△804,238,503	△208,771,933	△93,587,283	△4,789,668,394
医療事業利益	令和6年度	1,751,935,883	895,466,377	△38,205,211	226,804,222	△111,831,065	△44,405,143	2,679,765,063
	令和5年度	△781,939,935	△144,037,274	△314,263,371	△707,442,401	△229,786,775	△188,429,691	△2,365,899,447
	増 減	2,533,875,818	1,039,503,651	276,058,160	934,246,623	117,955,710	144,024,548	5,045,664,510
医業外収益	令和6年度	469,970,853	579,604,626	330,016,705	281,006,245	162,612,223	176,690,333	1,999,900,985
	令和5年度	1,599,946,749	1,045,286,390	1,115,890,578	572,470,962	311,472,623	257,255,819	4,902,323,121
	増 減	△1,129,975,896	△465,681,764	△785,873,873	△291,464,717	△148,860,400	△80,565,486	△2,902,422,136
医業外費用	令和6年度	63,040,377	49,557,305	60,173,827	18,384,404	3,615,102	3,367,346	198,138,361
	令和5年度	62,033,651	58,142,377	49,908,028	34,463,492	5,939,963	5,446,801	215,934,312
	増 減	1,006,726	△8,585,072	10,265,799	△16,079,088	△2,324,861	△2,079,455	△17,795,951
医療外利益	令和6年度	406,930,476	530,047,321	269,842,878	262,621,841	158,997,121	173,322,987	1,801,762,624
	令和5年度	1,537,913,098	987,144,013	1,065,982,550	538,007,470	305,532,660	251,809,018	4,686,388,809
	増 減	△1,130,982,622	△457,096,692	△796,139,672	△275,385,629	△146,535,539	△78,486,031	△2,884,626,185
病院収益(総収益)	令和6年度	27,290,479,881	19,219,018,142	6,843,104,228	4,241,465,465	1,581,934,113	1,135,454,515	60,311,456,344
	令和5年度	27,226,936,216	20,456,528,428	7,901,987,241	4,396,584,400	1,825,811,860	1,167,717,662	62,975,565,807
	増 減	63,543,665	△1,237,510,286	△1,058,883,013	△155,118,935	△243,877,747	△32,263,147	△2,664,109,463
病院費用(総費用)	令和6年度	25,167,738,268	17,941,145,336	6,693,716,957	3,814,942,158	1,534,769,907	969,218,977	56,121,531,603
	令和5年度	26,572,149,776	19,774,762,613	7,287,109,192	4,659,804,395	1,779,245,787	1,081,299,374	61,154,371,137
	増 減	△1,404,411,508	△1,833,617,277	△593,392,235	△844,862,237	△244,475,880	△112,080,397	△5,032,839,534
当期純利益	令和6年度	2,122,741,613	1,277,872,806	149,387,271	426,523,307	47,164,206	166,235,538	4,189,924,741
	令和5年度	654,786,440	681,765,815	614,878,049	△263,219,995	46,566,073	86,418,288	1,821,194,670
	増 減	1,467,955,173	596,106,991	△465,490,778	689,743,302	598,133	79,817,250	2,368,730,071

### □実質的収支について

退職給付会計の決算整理において生じる数理計算上の差異(年金債務の増減)は、国際会計基準に則って相当額を給与費の増減で処理することになっています。これは非資金性(現金の移動を伴わない)の処理であることから、当該数値(本社が指示する額)を除いた実質値を下表に示します。

数理計算上の差異 (本社指示額)	令和6年度	△2,283,612,926	△1,127,175,365	△842,463,199	△706,824,081	△199,980,617	△163,882,468	△5,323,938,656
	令和5年度	252,549,462	229,780,145	52,823,951	66,442,748	42,671,083	△4,549,949	639,717,440
	増 減	△2,536,162,388	△1,356,955,510	△895,287,150	△773,266,829	△242,651,700	△159,332,519	△5,963,656,096
医療事業利益 【実質】	令和6年度	△466,176,700	△202,119,911	△859,860,323	△459,396,107	△281,322,363	△191,444,410	△2,460,319,814
	令和5年度	△536,045,238	75,788,856	△264,192,208	△645,303,797	△193,786,775	△192,426,897	△1,755,966,059
	増 減	69,868,538	△277,908,767	△595,668,115	185,907,690	△87,535,588	982,487	△704,353,755
当期純利益 【実質】	令和6年度	△160,871,313	150,697,441	△693,075,928	△280,300,774	△152,816,411	2,353,070	△1,134,013,915
	令和5年度	907,335,902	911,545,960	667,702,000	△196,777,247	89,237,156	81,868,339	2,460,912,110
	増 減	△1,068,207,215	△760,848,519	△1,360,777,928	△83,523,527	△242,053,567	△79,515,269	△3,594,926,025

令和6年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位:円)

(科 目)	(施設名)	松本赤十字乳児院
事業活動による収入	令和6年度	259,574,188
	令和5年度	245,374,564
	増 減	14,199,624
事業活動による支出	令和6年度	218,534,844
	令和5年度	204,279,736
	増 減	14,255,108
事業活動資金収支差額	令和6年度	41,039,344
	令和5年度	41,094,828
	増 減	△55,484
施設整備等による収入	令和6年度	2,900,000
	令和5年度	0
	増 減	2,900,000
施設整備等による支出	令和6年度	3,541,906
	令和5年度	1,532,160
	増 減	2,009,746
施設整備等資金収支差額	令和6年度	△641,906
	令和5年度	△1,532,160
	増 減	890,254
その他の活動による収入	令和6年度	0
	令和5年度	6,627,300
	増 減	△6,627,300
その他の活動による支出	令和6年度	39,205,000
	令和5年度	41,363,714
	増 減	△2,158,714
その他の活動資金収支差額	令和6年度	△39,205,000
	令和5年度	△34,736,414
	増 減	△4,468,586
前期末支払資金残高	令和6年度	67,150,213
	令和5年度	62,323,959
	増 減	4,826,254
当期末支払資金残高	令和6年度	74,647,967
	令和5年度	67,150,213
	増 減	4,826,254

# 資料編

<b>災害救護</b>	.....	48
1. 医療救護班数等		
2. 救援物資の備蓄状況		
<b>赤十字奉仕団</b>	.....	50
1. 結成状況		
<b>青少年赤十字</b>	.....	52
1. 加盟校名簿		
<b>救急法などの講習</b>	.....	55
1. 講習種別等		
2. 市町村別の講習実施状況		
3. 各講習の指導員数		
4. 講習資材の整備状況		
<b>医療事業</b>	.....	58
1. 病院別の診療科目及び病床数		
2. 主な施設基準及び特殊診療等指定状況		
<b>看護師養成事業</b>	.....	60
1. 看護師養成の状況		
2. 長野県支部長推薦による		
日本赤十字豊田看護大学在学状況		
<b>血液事業</b>	.....	61
1. 血液センター別の供給本数		
2. 血液型別複数回献血クラブ		
「ラブラッド」会員数		
3. 原料血漿の確保状況		
<b>広報活動</b>	.....	62
1. 各施設におけるイベント等		
<b>日本赤十字社長野県支部現勢</b>	.....	67
<b>日本赤十字社現勢</b>	.....	68
<b>日本赤十字社の機構</b>	.....	69
<b>日本赤十字社長野県支部役員名簿</b>	.....	70
<b>地区分区住所録</b>	.....	71
<b>赤十字施設一覧表</b>	.....	76

(統計数字等は、令和7年3月31日現在)

# 災 害 救 護

## 1. 医療救護班数等

### (1) 医療救護班

施設名	救護班数(班)	人員(人)
長野赤十字病院	5	35
諏訪赤十字病院	3	21
安曇野赤十字病院	2	14
飯山赤十字病院	2	14
下伊那赤十字病院	2	12
川西赤十字病院	2	12
合計	16	108

### (2) 日赤災害医療コーディネートチーム

施設名	コーディネーター (医師)	コーディネートスタッフ (看護師・主事)	計 (人)
長野赤十字病院	2	11	13
諏訪赤十字病院	2	6	8
安曇野赤十字病院	1	6	7
飯山赤十字病院	1	0	1
下伊那赤十字病院	1	1	2
川西赤十字病院	1	1	2
長野県支部	0	3	3
合計	8	28	36

### (3) 血液供給要員

施設名	人員(人)
長野県赤十字血液センター	12
長野県赤十字血液センター松本事業所	8
合計	20

### (4) 防災ボランティア

団体名	人員(人)	備考
長野県赤十字救護隊	69	4方面隊設置
長野県柔道整復師会赤十字奉仕団	518	4地区設置
赤十字飛行隊長野支隊	1	本社直轄
合計	588	

## 2. 救援物資の備蓄状況

管理	保管場所		毛布 (枚)	緊急 セット (セット)	安眠 セット (セット)	タオルケット (枚)	
支部	北信	支部倉庫	長野県支部	145	283	664	1,410
		中野市倉庫	中野市防災広場	1,000	120	498	0
		須坂市倉庫	須坂市老人福祉センター「永楽荘」	560	0	150	0
		千曲市倉庫	千曲市ふれあい福祉センター	710	216	795	0
	中信	松本市倉庫	松本平広域公園	2,813	1,926	2,844	2,680
		大町市倉庫	大町市常盤貝原	1,570	1,500	465	0
		木曽町倉庫	木曽広域情報センター	800	0	153	0
		池田町倉庫	池田町防災倉庫	400	0	200	0
	東信	東御市倉庫	東御市第二体育館	500	0	0	0
		佐久市倉庫	佐久市老人福祉センター「長寿閣」	827	120	400	0
		小海町倉庫	小海町旧松原保育所跡地	700	420	940	0
			小海町総合センター	380	330	510	0
		上田市倉庫	上田市立清明小学校児童クラブ	300	0	150	0
		小諸市倉庫	小諸市総合体育館	400	0	0	0
	南信	軽井沢町倉庫	軽井沢風越公園総合体育館	165	1	190	0
		辰野町倉庫	辰野町荒神山跡公園	280	0	0	0
		平谷村倉庫	飯田広域消防平谷分署隣	460	0	0	0
		駒ヶ根市倉庫	駒ヶ根市防災備蓄倉庫	766	178	185	0
		岡谷市倉庫	諏訪湖ハイツ駐車場防災倉庫	200	0	100	0
		喬木村倉庫	喬木村帰牛原	550	0	200	0
		天龍村倉庫	天龍村老人福祉センター	500	0	240	0
		伊那市倉庫	伊那市防災倉庫	1,347	589	344	0
		富士見町倉庫	富士見町防災ステーション	508	192	300	100
小計			15,881	5,875	9,328	4,190	
施設	赤十字施設(7)	各赤十字病院・血液センター	1,686	0	692	0	
地区分区	地区分区倉庫(79)	各事務局	3,228	0	81	0	
合計			20,795	5,875	10,101	4,190	



## 緊急ヤツト

(携帯ラジオ、懐中電灯、歯ブラシ、軍手など)



## 安眠ヤツト

(マットレス アイマスク 耳栓 空気枕など)



## 毛布

# 赤十字奉仕団

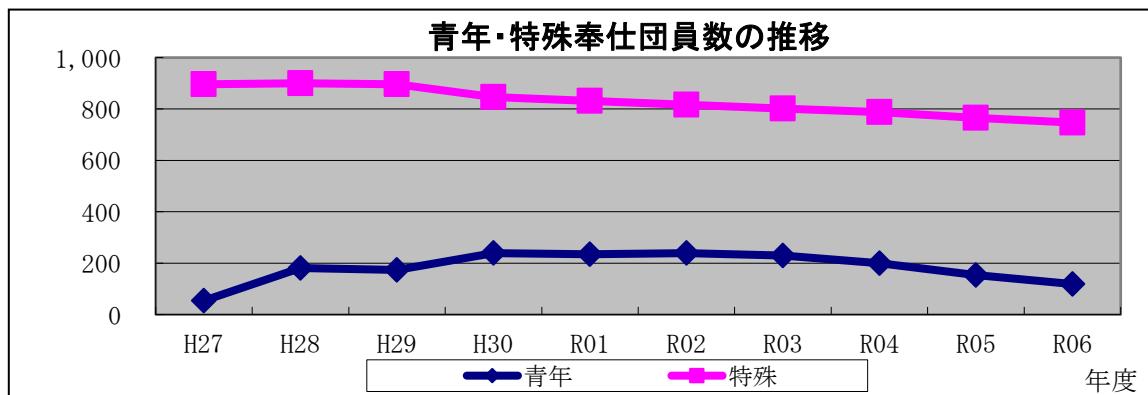
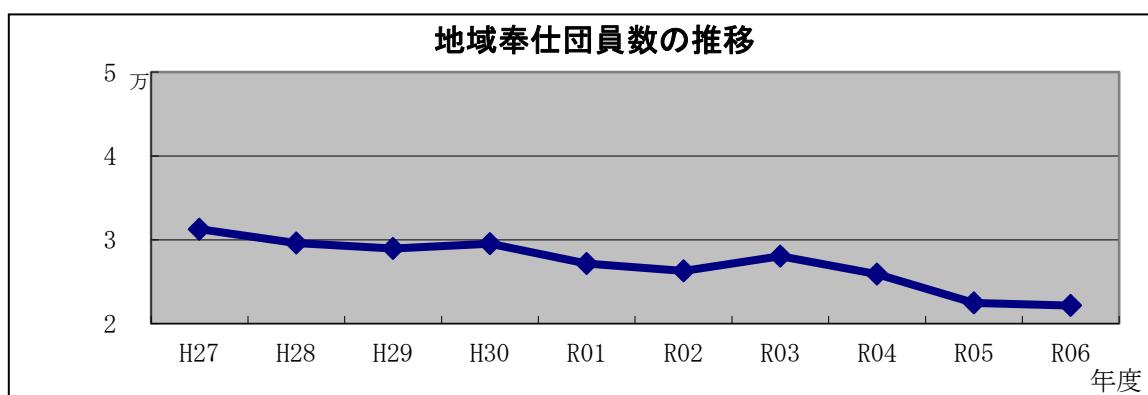
## 1. 結成状況

区分		結成数	団員数
市 地 区 地 域 奉 仕 団	長野市	1	1,760
	松本市	1	951
	上田市	1	2,129
	岡谷市	1	286
	飯田市	1	1,402
	諏訪市	1	177
	須坂市	1	583
	小諸市	1	2,112
	伊那市	1	345
	駒ヶ根市	1	92
	中野市	1	1,875
	大町市	1	1,319
	飯山市	1	62
	茅野市	1	282
	塩尻市	1	417
	佐久市	1	1,358
	千曲市	1	842
	東御市	1	296
	安曇野市	1	863
小計		19	17,151
郡 地 区 地 域 奉 仕 団	南佐久郡	6	419
	北佐久郡	3	111
	小県郡	2	120
	諏訪郡	3	362
	上伊那郡	6	859
	下伊那郡	13	1,818
	木曾郡	6	192
	東筑摩郡	5	204
	北安曇郡	4	150
	埴科郡	1	280
	上高井郡	2	40
	北信	4	208
	上水内郡	3	236
	小計	58	4,999
地域奉仕団合計①		77	22,150

区分		結成数	団員数
奉 仕 青 年 団	諏訪赤十字看護	1	93
	長野大学	1	2
	青年(社会人)	1	8
合計 ②		3	103

区分		結成数	団員数
特 殊 奉 仕 団	救護隊	1	69
	水上安全	1	19
	安全	1	13
	大町市救急員会	1	13
	青少年赤十字賛助	1	10
	柔道整復師会	1	518
	広報	1	78
	音訳	1	26
	赤十字飛行隊長野支隊	1	1
合計 ③		9	747

区分		結成数	団員数
赤十字奉仕団	合計 ①～③ (前年度)	89	23,000 (23,345)



# 青 少 年 赤 十 字

## 1. 加盟校名簿（各市郡別）

市郡名	校 種	加盟校数	メンバ-数(人)	加 盟 校 名
長野市	小 学 校	11	2,410	古牧・吉田・湯谷・若槻・芋井・安茂里・川田・七二会・信州新町・長沼・山王
	中 学 校	14	3,398	柳町・東部・西部・東北・北部・裾花・川中島・更北・戸隠・鬼無里・大岡・松代・長野市立長野・信大附属長野
	高 等 学 校	13	664	長野・長野西・長野商業・長野東・長野工業・篠ノ井高校犀峠校・長野南・篠ノ井・更級農業・松代・市立長野・文化学園長野・長野俊英
	特別支援学校	2	51	長野盲・長野養護
松本市	小 学 校	6	2,052	並柳・田川・開明・菅野・二子・附属松本
	中 学 校	8	2,281	清水・鎌田・松島・開成・高綱・明善・奈川・信大附属松本
	高 等 学 校	9	887	梓川・松本県ヶ丘・松本美須ヶ丘・松本深志・松本蟻ヶ崎・松本筑摩・松本国際・松本第一・エクセラン
上田市	小 学 校	0	0	
	中 学 校	5	1,913	塩田・第一・第六・真田・丸子北
	高 等 学 校	4	91	上田東・丸子修学館・上田西・さくら国際
岡谷市	小 学 校	2	171	長地・上の原
	中 学 校	0	0	
	高 等 学 校	1	10	岡谷工業
飯田市	小 学 校	3	357	山本・川路・鼎
	中 学 校	5	1,342	飯田西・緑ヶ丘・旭ヶ丘・竜峠・鼎
	高 等 学 校	3	747	飯田・飯田風越・飯田O I D E長姫
諏訪市	小 学 校	3	952	城南・四賀・湖南
	中 学 校	1	241	諏訪
	高 等 学 校	0	0	
須坂市	小 学 校	11	2,043	須坂・小山・森上・日滝・豊洲・日野・井上・高甫・旭ヶ丘・仁礼・豊丘
	中 学 校	4	1,239	常盤・相森・墨坂・東
	高 等 学 校	3	42	須坂東・須坂・須坂創成
小諸市	小 学 校	0	0	
	中 学 校	1	375	芦原
	高 等 学 校	2	28	小諸商業・小諸

市郡名	校 種	加盟校数	メンバー数(人)	加 盟 校 名
伊 那 市	小 学 校	1	602	伊那
	中 学 校	1	366	春富
	高 等 学 校	3	85	高遠・伊那北・伊那弥生ヶ丘
駒ヶ根市	小 学 校	0	0	
	中 学 校	1	667	赤穂
	高 等 学 校	0	0	
中 野 市	小 学 校	2	1,242	中野・平野
	中 学 校	2	368	中野平・豊田
	高 等 学 校	2	12	中野立志館・中野西
大 町 市	小 学 校	4	835	大町東・大町南・大町北・大町西
	中 学 校	0	0	
	高 等 学 校	1	15	大町岳陽
飯 山 市	小 学 校	0	0	
	中 学 校	0	0	
	高 等 学 校	1	9	飯山
茅 野 市	小 学 校	1	664	宮川
	中 学 校	2	767	東部・長峰
	高 等 学 校	1	2	茅野
塩 尻 市	小 学 校	3	751	塩尻東・片丘・宗賀
	中 学 校	0	0	
	高 等 学 校	3	110	塩尻志学館・田川・東京都市大学塩尻
佐 久 市	小 学 校	2	909	臼田・中佐都
	中 学 校	5	803	野沢・中込・浅間・東・浅科
	高 等 学 校	5	675	長野西高校望月サテライト・岩村田・野沢北・佐久平総合技術浅間キャンパス・佐久平総合技術臼田キャンパス
千 曲 市	小 学 校	0	0	
	中 学 校	3	1,117	更埴西・屋代・戸倉上山田
	高 等 学 校	1	3	屋代南
東 御 市	小 学 校	1	202	北御牧
	中 学 校	1	88	北御牧
	高 等 学 校	1	122	東御清翔
安曇野市	小 学 校	1	700	豊科南
	中 学 校	1	32	穂高東
	高 等 学 校	4	123	明科・豊科・南安曇農業・穂高商業
南佐久郡	小 学 校	1	17	小海
	中 学 校	0	0	
	高 等 学 校	1	12	小海

市郡名	校 種	加盟校数	メンバー数(人)	加 盟 校 名
北佐久郡	小 学 校	3	1,208	軽井沢西部・御代田南・立科
	中 学 校	2	471	軽井沢・御代田
	高等學校	2	10	蓼科・軽井沢
小 県 郡	小 学 校	1	32	青木
	中 学 校	1	85	青木
諏 訪 郡	小 学 校	0	0	
	中 学 校	2	465	下諏訪社・富士見
	高等學校	1	3	下諏訪向陽
上伊那郡	小 学 校	3	477	川島・飯島・中川西
	中 学 校	4	1,477	辰野・箕輪・飯島・中川
	高等學校	3	28	辰野・箕輪進修・上伊那農業
下伊那郡	小 学 校	2	50	喬木第二・新野
	中 学 校	1	9	天龍
	高等學校	2	31	松川・阿智
木 曾 郡	小 学 校	0	0	
	中 学 校	1	57	木祖
	高等學校	0	0	
東筑摩郡	小 学 校	0	0	
	中 学 校	1	33	生坂
	高等學校	0	0	
北安曇郡	小 学 校	1	435	松川
	中 学 校	2	312	松川・白馬
	高等學校	2	170	池田工業・白馬
埴 科 郡	小 学 校	0	0	
	中 学 校	1	314	坂城
	高等學校	1	5	坂城
上高井郡	小 学 校	1	572	栗ガ丘
	中 学 校	2	467	小布施・高山
下高井郡	小 学 校	1	184	山ノ内東
	中 学 校	1	107	木島平
	高等學校	0	0	
上水内郡	小 学 校	2	400	三水・信濃
	中 学 校	1	231	飯綱
	高等學校	0	0	
下水内郡	小 学 校	0	0	
	中 学 校	1	18	栄

# 救急法などの講習

## 1. 講習種別等

講習区分	講習名	講習内容	講習時間
救急法	基礎講習	傷病者の観察の仕方及び一次救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、気道異物除去法）等救急法の基礎	4時間
	救急員養成講習	急病の手当、けがの手当（止血法、包帯法、固定法）、搬送及び救護	10時間
	短期講習	救急法基礎講習及び救急法救急員養成講習の内容の一部	2時間程度
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	14時間
	救助員Ⅱ養成講習	海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	12時間
	短期講習	救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部	2時間程度
健康生活支援講習	支援員養成講習	高齢期における健康の維持と増進、自立に向けた生活の仕方や工夫及び地域の高齢者支援	9時間
	災害時高齢者生活支援講習	災害時における高齢者を守るためにの知識及び支援技術	2時間
	短期講習	健康生活支援講習支援員養成講習の内容の一部を選択	2時間程度
幼児安全法	支援員養成講習	こどもに起こりやすい事故の予防と手当及びこどもの病気への対応	10時間
	短期講習	支援員養成講習の内容の一部を選択	2時間程度

## 2. 市町村別の講習実施状況（回）

北信地域	救	水	健	幼	計
中野市	2		3		5
飯山市	2		3	2	7
山ノ内町	5				5
木島平村				1	1
野沢温泉村	1				1
栄村					

長野地域	救	水	健	幼	計
長野市	144	1	7	20	172
須坂市	5		1		6
千曲市	2				2
坂城町	1			1	2
小布施町					
高山村	1				1
信濃町	4	1	1	2	8
飯綱町	5			1	6
小川村					

上小地域	救	水	健	幼	計
上田市	14		2	1	17
東御市	1				1
長和町					
青木村					

佐久地域	救	水	健	幼	計
小諸市				2	2
佐久市	6			1	7
小海町					
佐久穂町	3				3
川上村	2				2
南牧村					
南相木村					
北相木村					
軽井沢町	3				3
御代田町					
立科町					

松本地域	救	水	健	幼	計
松本市	19		2	5	26
塩尻市	19		2	4	25
安曇野市	10		3	12	25
麻績村					
生坂村				1	1
山形村					
朝日村					
筑北村					

上伊那地域	救	水	健	幼	計
伊那市	25			1	26
駒ヶ根市	5				5
辰野町	18			1	19
箕輪町	23				23
飯島町	3				3
南箕輪村	6				6
中川村					
宮田村					

大北地域	救	水	健	幼	計
大町市	6				6
池田町					
松川村					
白馬村	1				1
小谷村					

諏訪地域	救	水	健	幼	計
岡谷市	11		1	3	15
諏訪市	13		4	2	19
茅野市	5				5
下諏訪町	3				3
富士見町	1			2	3
原村					

飯伊地域	救	水	健	幼	計
飯田市	190		1		191
松川町	4				4
高森町					
阿南町					
阿智村					
平谷村					
根羽村					
下條村	1				1
壳木村					
天龍村					
泰阜村					
喬木村	2				2
豊丘村	3				3
大鹿村					

木曽地域	救	水	健	幼	計
上松町					
南木曽町					
木曽町	7				7
木祖村	1				1
王滝村					
大桑村					

合計	救	水	健	幼	計
	577	2	31	61	671

救：救急法
水：水上安全法
健：健康生活支援講習
幼：幼児安全法

## 3. 各講習の指導員数

講習区分	指導員数（人）		
	ボランティア	職員	計
救急法	143	86	229
水上安全法	9	1	10
健康生活支援講習	23	62	85
幼児安全法	18	55	73
雪上安全法	0	2	2
合計	193	206	399

## 4. 講習資材の整備状況

整備品目	数量(体、台)
人工呼吸訓練人形（乳児）	26
心肺蘇生訓練人形（乳児）	20
心肺蘇生訓練人形（幼児）	26
心肺蘇生訓練人形（成人）	40
心肺蘇生訓練人形（成人半身）	115
心肺蘇生訓練人形（ミニアン）	60
自動体外式除細動器（AED）トレーナー	155

# 医 療 事 業

## 1. 病院別の診療科目及び病床数

区分	診 療 科 目	許可病床数
長野赤十字病院	内科、血液内科、呼吸器内科、感染症内科、腎臓内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、神経内科、糖尿病・内分泌内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆脾外科、心臓血管外科、脳神経外科、アレルギー科、小児科、産婦人科、婦人腫瘍科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、精神科、小児外科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、臨床検査科 (38科)	一般 635 精神 45 計 680
諏訪赤十字病院	内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科 (32科)	一般 425 精神 30 計 455
安曇野赤十字病院	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科 (24科)	一般 316
飯山赤十字病院	内科、外科、脳神経外科、眼科、小児科、整形外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、精神科、泌尿器科、放射線科、形成外科、リハビリテーション科、呼吸器科、麻酔科、脳神経内科、循環器科、消化器科、心療内科、救急科 (21科)	一般 240 療養型 44 計 284
下伊那赤十字病院	内科、心療内科、精神科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、消化器外科 (15科)	一般 56 療養型 6 計 62 介護医療院 34 計 34
川西赤十字病院	内科、消化器科、循環器科、リウマチ科、外科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、小児科 (10科)	一般 51 療養型 33 計 84
合 計		一般 1,723 精神 75 療養型 83 計 1,881 介護医療院 34 計 34

## 2. 主な施設基準及び特殊診療等指定状況

指定区分	病院名					
	長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西
急性期一般入院料1	○	○	○	○		
急性期一般入院料4					○	○
急性期一般入院料5						
DPC対象病院	○	○	○	○		
救命救急センター	○	○				
救急告示病院	○	○	○	○	○	○
エイズ拠点病院	○	○				
エイズ協力病院			○			
がん診療連携拠点病院	○	○				
地域周産期母子医療センター	○	○				
災害拠点病院	○					
基幹災害拠点病院						
地域災害拠点病院	○					
地域医療支援病院	○	○	○			
べき地医療拠点病院				○		
訪問看護ステーション	○	○	○	○	○	○
訪問リハビリテーション	○		○	○	○	○
通所リハビリテーション				○	○	
指定居宅介護支援事業者	○	○	○	○	○	○
医療保険適用療養病床				44床	6床	33床
介護保険適用療養病床						0床
回復期リハビリテーション病棟			45床	60床		
地域包括ケア病床			44床	120床	34床	41床
I C U病床	12床	8床				
H C U病床	10床	8床	8床	0床		
透析病床	50床	38床	26床	25床	17床	
介護医療院					34床	
臨床研修指定病院	基幹型	○	○			
	協力型	○	○	○		
	協力施設				○	○
病院機能評価認定病院	○	○	○	○		

# 看護師養成事業

## 1. 看護師養成の状況

区分	1学年(人)	2学年(人)	3学年(人)	合計(人)
諏訪赤十字看護専門学校 (前年度)	31 (31)	31 (30)	30 (27)	92 (88)

## 2. 長野県支部長推薦による日本赤十字豊田看護大学在学状況

区分	令和4年度 入学生 (人)	令和5年度 入学生 (人)	令和6年度 入学生 (人)	令和7年度 入学生 (人)	合計 (人)
長野赤十字病院	0	0	0	0	0
諏訪赤十字病院	3	1	0	0	4
安曇野赤十字病院	0	0	1	0	1
飯山赤十字病院	1	0	1	0	2
下伊那赤十字病院	0	0	0	0	0
川西赤十字病院	1	0	0	0	1
合計	5	1	2	0	8

# 血 液 事 業

## 1. 血液センター別の供給本数

種別 区分	全 血 (本)	赤血球 (本)	血 漿 (本)	血小板 (本)	合 計 (本)
長野センター	0 (0)	17,411 (34,768)	3,269 (8,727)	3,874 (38,765)	24,554 (82,260)
松本事業所	0 (0)	23,214 (45,531)	8,320 (18,063)	6,172 (62,225)	37,706 (125,819)
計	0 (0)	40,625 (80,299)	11,589 (26,790)	10,046 (100,990)	62,260 (208,079)
前年度	0 (0)	41,701 (82,228)	11,485 (26,949)	10,912 (110,061)	64,098 (219,238)

( ) 内は 200mL 献血に換算した本数

## 2. 血液型別複数回献血クラブ「ラブラッド」会員数

区分	A型 (人)	O型 (人)	B型 (人)	A B型 (人)	合 計 (人)
登録者数(人)	17,157(143)	14,597(135)	10,743(98)	4,801(53)	47,298(429)
前 年 度(人)	15,311(125)	13,101(124)	9,657(87)	4,268(47)	42,337(383)

( ) 内は R h ( - ) を再掲

## 3. 原料血漿の確保状況

区分	確保目標量(ℓ)	確 保 量(ℓ)	達 成 率(%)
令和6年度	23,698	23,162	97.7
	(全国 : 1,230,000)	(1,242,817)	(101.0)
前 年 度	23,108	22,934	99.2
	(全国 : 1,200,000)	(1,234,183)	(102.8)

# 広 報 活 動

## 1. 各施設におけるイベント等

施設名	イベント名	実施日	内 容
長野赤十字病院	赤十字週間	令和 6 年 5 月 7 日 ～ 10 日	赤十字活動 PR のための院内デジタルサイン用いた展示、中央ホール展示、院長・看護部長・事務部長による赤十字活動の紹介院内放送、ライトアップ
	がん相談支援センター 「ミニがん教室」	6 月 17 日 10 月 21 日 令和 7 年 2 月 17 日	がんに関するミニ講習会を年 3 回実施（集合研修会）
	赤十字幼児安全法講習	7 月 23 日	地域住民を対象に講習会を実施
	一日看護師体験	8 月 1 日	赤十字の活動についての興和（国際救護・災害救護）看護師業務体験、ヘリポート見学
	創立 120 周年記念企画	9 月 22 日	信濃毎日新聞記念広告
	がんと向きあう週間	10 月 1 日 ～ 7 日	ライトアップ、院長による院内放送、中央ホールベース設置、バッジ展示
	がん治療センター web 市民公開講座	10 月 29 日	Web (zoom) による公開講座
	クリスマス関連	12 月 1 日 ～ 24 日	イルミネーション設置、小児病棟でのクリスマスカード配布
	創立 120 周年記念企画 (病院祭代替事業)	12 月 30 日	長野朝日放送当院番組放送
	がん治療センター オンライン市民公開講座	通 年	YouTube によるがん情報の発信
諏訪赤十字病院	世界緑内障週間	令和 7 年 3 月 10 日 ～ 14 日	建物をグリーンライトアップ
	「赤十字月間・看護週間・看護の日」イベント	令和 6 年 5 月 10 日	看護師によるハンドケア、リビングウイルシートの紹介、地震体験車の展示
	中学生職場体験	7 月 31 日	諏訪地域中学生対象の職場体験
	一日看護師体験	8 月 6 日	将来看護職を目指す学生を対象に、職場紹介や看護体験の発表、ディスカッションを実施
	高校生職場体験	8 月 9 日	中南信地区、一部山梨県の高校生対象の職場体験

	第18回市民公開 がん講演会	8月25日	「すでに身近ながんゲノム医療」
	ホスピス緩和ケア週間	10月10日	除菌ウェットティッシュ配布、緩和ケアに関する冊子・がん相談支援センターに関する冊子の配布
	第17回日赤病院祭	10月19日	オープニングセレモニー、フードコーナー、災害救護車両の展示、ハンドケア、子ども広場、健康チェック等
	市民公開講演会	10月19日	「諏訪地域の災害に備えよう」
	医療安全週間	10月21日 ～11月25日	職員の医療安全の取り組み強化、患者・家族・市民の皆さんへの医療への参加をPR、「医療安全川柳」の募集と表彰
	登録医との集い	11月1日	当院医師と登録医との交流会
	世界糖尿病デー	11月14日	医師、理学療法士による講演会、血糖・血圧測定、メタカルスタッフによる相談・試供品・パンフレットの配布
	LCV日赤健康チャンネル	通年	ケーブルテレビ(LCV)にて医療・健康情報の発信(毎月)
	出張出前講座 「ハートラちゃん講座」	通年	地域の皆さんと一緒に医療・福祉・介護・健康づくり・予防法などを学ぶ出前講座
	みんなのがん教室	年3回	がんに関する一般的な知識の普及を図るため患者・家族・市民を対象に開催
安曇野赤十字病院	患者・家族のミニがん教室	年4回	がんの療養生活の中で知りたい情報や役立つ情報を提供、気軽に質問や相談ができる少人数の教室
	糖尿病教室	年6回	糖尿病に対する知識と理解を深めていただくことを目的に定期的に開催
	世界赤十字デー レッドライトアップ	令和6年 5月1日 ～31日	病院正面玄関のレッドライトアップ
	看護の日	5月10日 ～17日	生花を赤十字フラワー(ロビー)に展示
	りんどう会	6月・11月	りんどう会(糖尿病患者さん向け)にて、6月に総会、11月に災害に関する研修会を開催
	七夕関連	7月5日 ～8月7日	入院患者さんへ七夕献立を提供したほか、患者さん用の笹竹と短冊を各病棟・赤十字フラワーに飾りつけ
	1日看護師体験	7月30日 8月5日 14日	高校生を対象とした看護師体験の実施

	看護師 インターンシップ	8月 7 日 ～ 8 日 令和 7 年 3月 26 日 27 日	看護学生を対象とした 1 日インターンシップの開催
	演奏会	8月 19 日	歌謡楽団による演奏会を赤十字ブザにて開催
	健康まつり	10月 26 日	地域の皆さんに向けて健康講座やアトラクション、ステージでの演奏等を実施
	糖尿病 啓発キャンペーン	11月 11 日 ～18 日	世界糖尿病デーに合わせて正面玄関のブルーライトアップ
	街路樹 イルミネーション	11月 11 日～ 令和 7 年 2月 28 日	地域を明るくすることを目的に、市民や企業と協力して街路樹を装飾
	クリスマスイベント①	11月 26 日 ～12月 23 日	病棟・赤十字ブザにクリスマスツリーを設置
	クリスマスイベント②	12月 6 日 ～26 日	木の実のリースの展示を赤十字ブザにて実施
	ビデオ放映	通 年	救急外来と外来待合にて、健康講座のビデオを放映
	美術品の展示	令和 7 年 3月 4 日 ～30 日	赤十字ブザと 2 階ラウンジにて美術品の展示会を実施
	出前講座	通 年	地域の皆さんの健康増進に貢献するため、当院職員を講師として派遣し講座を実施
飯山赤十字病院	運営協議会	令和 6 年 8月 2 日	岳北地域の医療を担う当院の現状・課題や将来像の共有、連携を深めるため当院と行政との連絡会議を開催
	高校生一日看護体験	8月 8 日	看護師を目指す高校生を対象に、看護業務に触れ、関心と理解を深めてもらう
	医療連携のつどい	9月 3 日	近隣の医療機関との連携を図るため、当院の医師の講演と意見交流会を開催
	職場体験	7月 16 日 17 日 9月 5 日 6 日 10月 17 日 18 日 10月 25 日	病院で働くスタッフを目指していただけるよう病院の様々な部署を見学・体験
	ふれあい祭り	11月 23 日	当院医師による講演と長野県立信州医療センターから講師を招き市民講座を開催。また、病院見学、ナース服試着等の体験や薬相談、血糖値測定、モルック体験等ができるコーナーを開催

	医療安全週間	11月24日～30日	医療安全週間を設け、部署ごとの取り組みについてポスター展示
	飯山市芸術文化協会 飯山日赤展示	通年	地域住民の活動の場として、院内へ飯山市芸術文化協会による日本画・水墨画・写真を展示
	旅する本箱設置	令和7年 3月8日	4つの本箱が長野県内4か所を巡るという県立長野図書館のプロジェクトへの参加
	出前講座	通年	地域の予防医学に関する各種講演
下伊那赤十字病院	赤十字月間	令和6年 5月1日～31日	ポスター掲示
	ラベンダー花摘み ポプリ作り	7月10日	感染対策の上、地域赤十字奉仕団員によりラベンダーのポプリを作り、職員が入院患者・入所者に配付
	「ACTION！防災・減災」 啓発活動	令和7年 3月1日～31日	ポスター掲示
	出前講座	通年	医療講演、認定看護師・救急法指導員等による講演
川西赤十字病院	中学生職場体験	令和6年 7月23日～24日 11月1日 10月22日～23日	看護師業の見学・体験・病院内見学
	高校生1日看護師体験	8月6日～7日	高校生による1日看護師体験(白衣着用にて)
	病院祭	10月26日	各種バントの開催
	出前講座・訪問支援	通年 (複数回)	長野県、保健所、看護協会、地元中学校、他団体から依頼を受け、看護部長(感染管理認定看護師)が施設等へ訪問して講演・指導
	赤十字月間	5月から通年	大給恒はじめ赤十字に由来する方、五稜郭のポスターを廊下に展示
	かわにしオレンジカフェ	毎月1回	認知症認定看護師による相談会・交流会
	もっとクロス教室	年4回	地域住民を対象としたリハビリスタッフによる健康教室
長野県赤十字 血液センター	「シャレン！で献血」	令和6年 4月28日 6月8日 11月2日	明治安田生命相互会社、公益社団法人日本プロサッカーリーグ、日本赤十字社が協働で展開する献血啓発活動としてサッカースタジアム会場での献血

松本赤十字乳児院	プロスポーツチームとの タイアップ	7月 13 日 10月 13 日 12月 8 日	若い世代への啓発の推進として 県とプロスポーツチームとのタイアップによる啓発
	サマー キャンペーン	7月 15 日 20 日	学生ボランティアと街頭にて献血協力及び献血 PR
	献血体験キャンペーン	10月 26 日 27 日 令和7年 1月 11 日 12 日 13 日 3月 1 日 2 日 8 日 9 日	献血ルームから遠方の地域において献血を体験していただくため実施
	学生クリスマス キャンペーン	12月 1 日 7 日	学生ボランティアと街頭にて献血協力及び献血 PR
	里親さんを知る日	令和6年 10月 13 日	里親制度の周知、普及 里親さんの講演（体験談を踏まえた）
松本赤十字乳児院	ひまわり交流会	8回開催	里親同士の交流や里親登録者の研修会
	わくわく親子広場	9回開催	地域で育児をしている家庭対象に、同じ月齢の子を持つ親同士の交流の場になるよう音楽鑑賞、手作りおもちゃ等を実施

# 日本赤十字社長野県支部現勢

(令和7年3月31日現在)

1 沿革	明治22年(1889年) 長野委員部設置 明治23年(1890年) 長野支部に改称 昭和27年(1952年) 長野県支部に改称
2 支援者	個人 245,538人 法人 5,317法人 合計 250,855
3 本社理事	1人
4 本社代議員	5人

5 支部評議員	40人
6 支部役員	支部長 阿部守一 副支部長 関昇一郎 花岡利夫 羽田健一郎 監査委員 牛越徹 柳澤勇 原修二
7 有功会員	個人 112人 法人 76社 合計 188
8 青少年赤十字	
211校 40,243人	小学校 66校 17,265人 中学校 74 19,043 高等学校 69 3,884 盲学校 2 51

9 赤十字奉仕団	89団 23,000人	地域 77団 22,150人 青年 3 103 特殊 9 747
----------	----------------	----------------------------------------

10 講習普及活動(令和6年度)	講習回数 救急法 水上安全法 健康生活支援 幼児安全法 雪上安全法 合計	受講者数 13,346人 17 831 1,073 0 16,006	指導者数 229人 10 85 73 2 399
------------------	--------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	--------------------------------------------

11 國際活動	アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業 レバノン難民支援事業 東アフリカ3か国地域保健強化事業	630千円 840千円 630千円
---------	-------------------------------------------------------	-------------------------

12 災害救護	医療救護班 無線局 救護車両 救護物資備蓄倉庫 救援物資備蓄状況	常備 16班 108人 109局 52台 長野市・松本市・上田市・岡谷市・須坂市・小諸市・伊那市・駒ヶ根市・中野市・大町市・佐久市・千曲市・東御市・小海町(2)・軽井沢・富士見町・辰野町・平谷村・喬木村・天龍村・木曽町・池田町・各赤十字施設 計 30カ所 毛布 20,795枚 安眠セット 10,101個 緊急セット 5,875個 タオルケット 4,190枚
---------	----------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

13 看護師等養成	看護専門学校 諏訪赤十字看護専門学校 合計	在校者数 92 92
-----------	-----------------------------	------------------

## 14 医療事業

病院	病床数	介護医療院
長野赤十字病院	680床	0床
諏訪赤十字病院	455	0
安曇野赤十字病院	316	0
飯山赤十字病院	284	0
下伊那赤十字病院	62	34
川西赤十字病院	84	0
合計	1,881	34

受入患者数(令和6年度)	1日平均
入院 571,847人	1,565人
外 来 804,547	3,321

## 15 血液事業

血液センター
長野県赤十字血液センター
問御所出張所「長野献血ルーム」
松本事業所
松本公園通り出張所「松本献血ルーム」

献血者数(令和6年度)	供給本数(令和6年度)
成分献血 24,744人	全血 0本
400ml献血 49,943	赤血球 40,625
200ml献血 1,182	血漿 11,589
合計 76,061	血小板 10,046

## 16 社会福祉施設

児童福祉施設	在所者数
松本赤十字乳児院	15人

## 17 職員数

病院	医師	看護師	その他職員	合計
長野県支部	0人	0人	15人	15人
長野赤十字病院	195	746	454	1,395
諏訪赤十字病院	131	535	481	1,147
安曇野赤十字病院	50	255	258	563
飯山赤十字病院	25	159	185	369
下伊那赤十字病院	10	65	63	138
川西赤十字病院	5	46	56	107
長野県赤十字血液センター	5	40	97	142
松本赤十字乳児院	0	7	28	35
合計	421	1,853	1,637	3,911

## 18 会計(令和6年度決算)

一般会計(支部)	収入 607,181千円
	支出 589,536
医療施設	収入 60,311,456
	支出 56,121,531
社会福祉施設	収入 262,474
	支出 261,281
合計	収入 60,573,930
	支出 56,382,812
合計	収入 61,181,111
	支出 56,972,348

# 日本赤十字社現勢

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。

赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

## 1949年のジュネーブ四条約締約国

196カ国

1. 沿革	明治10年(1877) 5月 1日 博愛社設立
	明治20年(1887) 5月20日 日本赤十字社に改称
	昭和27年(1952) 8月14日 日本赤十字社法制定
2. 名誉総裁・名誉副総裁	
名 誉 総 裁 皇 后 陛 下	
名 誉 副 総 裁 秋篠宮皇嗣妃殿下	
常陸宮殿下・同妃華子殿下	
三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下	
高円宮妃久子殿下	
3. 会 員	個人 20.6万人
(令和6年3月31日現在)	法人 7.8万法人
4. 評議員	2,004人
5. 代議員	223人
6. 役員	
社 長 清家 篤 (常勤)	
副社長 鈴木 俊彦 (常勤) 十倉 雅和 (非常勤)	
理 事 61人 (常勤5人、非常勤56人)	
監 事 3人 (常勤1人、非常勤2人)	

## 7. 青少年赤十字 (令和6年3月31日現在)

幼稚園・保育所等	1,759校	135,962人
小 学 校	7,095校	1,912,030人
中 学 校	3,465校	967,635人
高 等 学 校	1,734校	356,781人
特 別 支 援 学 校	222校	22,157人
そ の 他	141校	36,118人
計	14,416校	3,430,683人
指 導 者	281,583人	

## 8. 赤十字ボランティア (令和6年3月31日現在)

地域赤十字奉仕団	2,068団	785,324人
青年赤十字奉仕団	148団	5,277人
特殊赤十字奉仕団	615団	27,268人
個人ボランティア等	-	11,517人
計	2,831団	829,386人

## 9. 救急法等の講習

資格登録者数 (令和6年3月31日現在)	受講者数	
	指 導 者	救 急 員 等
救急法基礎講習	10,859人	259,451人
救急法	6,878人	136,548人
水上安全法	1,511人	10,852人
雪上安全法	216人	1,354人
幼児安全法	2,254人	20,462人
健康生活支援講習	1,664人	13,775人
計	23,382人	442,442人
		509,341人

## 10. 看護師等の教育

施 設 数	一 学 年 養 成 定 員
大学 (大学院併設) 6	看護師 15校 1,115人
短期大学 1	助産師 6校 88人
看護専門学校 9	保健師 6校 154人
助産師学校 1	幹部看護師 1校 120人
幹部看護師研修センター 1	介護福祉士 1校 30人
計 18	

## 11. 国際活動

国際救援・開発要員派遣 (令和5年度)	15カ国 のべ59人
国際赤十字・赤新月社連盟出向	2人(イスラ、マレーシア)
国際活動費 (令和5年度)	77億1千万円

## 世界の赤十字社・赤新月社等

191社

## 12. 国内災害救護

救護員数	8,939人 (常備救護班要員を含む)
常備救護班	487班 6,535人
無線局	(令和6年3月31日現在) 3,093局
救護車両	2,206台
赤十字飛行隊(特殊奉仕団)	95人
災害における救護員出動数 (令和5年度)	32,740人
救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット) (令和5年度)	34,275個
令和5年度取扱災害支援金額 (令和6年3月31日現在)	382億5,912万1,632円

## 13. 医療事業

施 設 数	
病 院	診 療 所 5
91	老人保健施設 4
	介護医療院 5
病 床 総 数	34,525床 (令和6年3月31日現在)
	総患者数 (令和5年度) 1 日平均
入 院	966万人 2.6万人
	外 来 1,571万人 6.4万人

## 14. 血液事業

施 設 数	
地域血液センター 47	ブロック血液センター 7
附属施設 169	附属施設 (製造所) 4
(献血ルーム116を含む)	分室 1
献血者数 (令和5年度)	供給本数 (令和5年度)
成 分 献 血 156万人	輸 血 用 製 剤 1,743万本
400mL 献 血 332万人	車両台数 (令和6年3月31日現在)
200mL 献 血 13万人	献血運搬車 761台
計 501万人	移 動 採 血 車 279台

## 15. 社会福祉事業

児 童 福 祉 施 設 数 (定員)	
乳児院 8 (282)	医療型障害児入所施設 3 (286)
保育所 3 (333)	
児童養護施設 1 (40)	
老 人 福 祉 施 設 数 (定員)	
特別養護老人ホーム (併設ケアハウス20人を含む)	8 (773)
障害者福祉施設 (定員)	複合型施設 1 (定員)
障害者支援施設 1 (50)	特別養護老人ホーム (110)
視聴覚障害者情報提供施設 2	介護老人保健施設 (100)
補装具製作施設 1	高齢者グループホーム (18)
	障害者支援施設 (10)

## 16. 職員数 (施設数)

職 員 数	
本社 (1)	543人
支部 (47)	689人
医療事業 (115)	59,301人
血液事業 (228)	5,775人
社会福祉事業 (28)	1,218人
計	67,526人

## 17. 会計 (令和6年度当初予算)

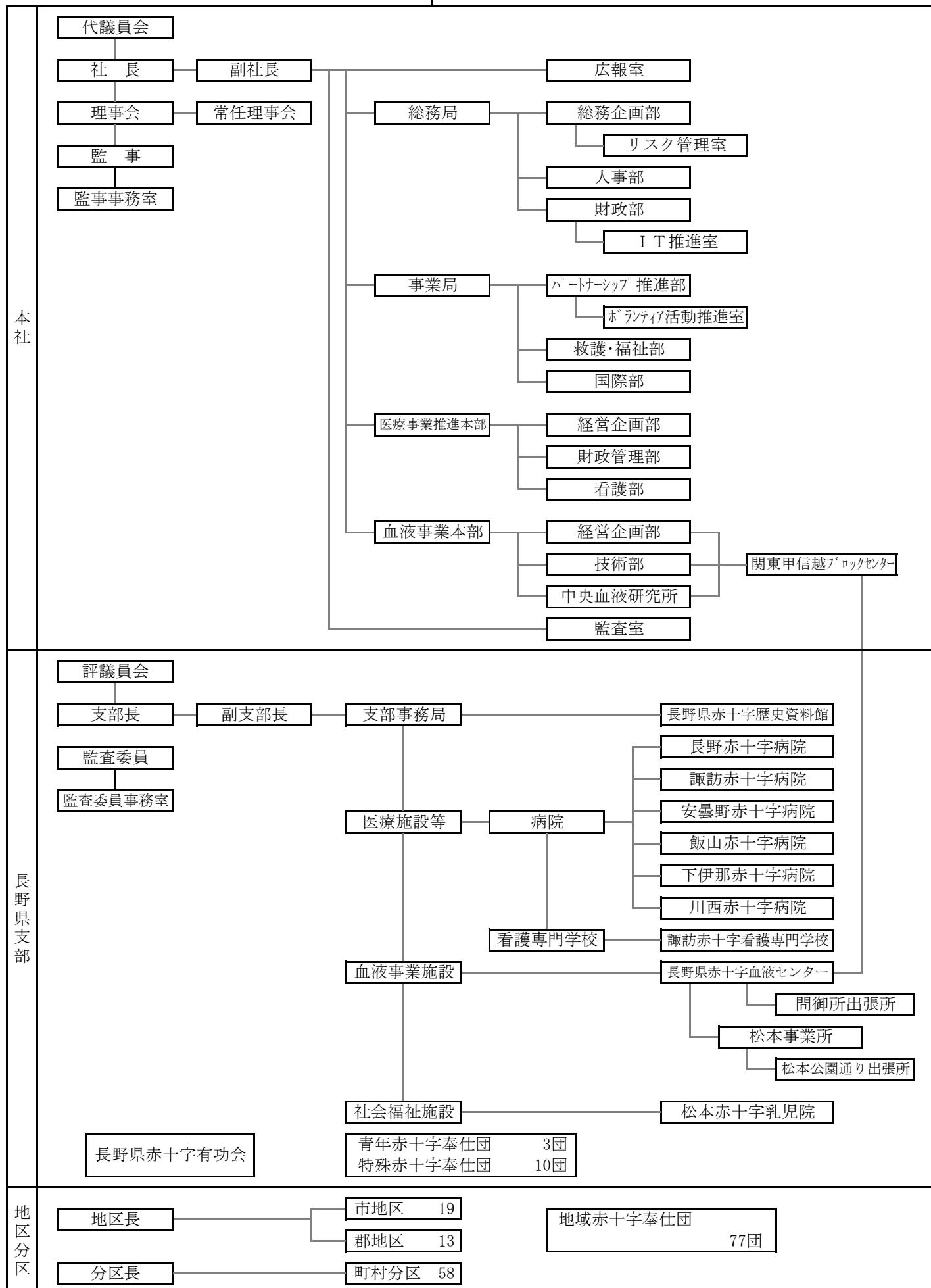
一 般 会 計	本 社	178億4千万円
	支 部	190億1千万円
医 療 施 設 特 別 会 計		1兆2,159億6千万円
血 液 事 業 特 別 会 計		1,625億1千万円
社 会 福 祉 施 設 特 別 会 計		160億8千万円

(特に断りのない統計数字等は、令和6年4月1日現在)

# 日本赤十字社の機構

(令和7年3月31日現在)

日本赤十字社支援者(会員・協力会員等)



# 日本赤十字社長野県支部役員名簿

(令和7年3月27日現在)

役職名	氏名	公職名等	役職名	氏名	公職名等
支部長	阿部 守一	長野県知事		柳田 清二	佐久市長
副支部長	関 昇一郎	長野県副知事		小川 修一	千曲市長
	花岡 利夫	県市長会長		花岡 利夫	東御市長
	羽田 健一郎	県町村会長		太田 寛	安曇野市長
監査委員	牛越 徹	大町市長		黒澤 弘	小海町長
	柳澤 勇	前長野県立病院機構監事		土屋 三千夫	軽井沢町長
	原 修二	元飯山赤十字病院事務部長		北村 政夫	青木村長
参 与	笛剣 美香	県健康福祉部長		牛山 貴広	原村長
	前沢 直隆	県危機管理部長		白鳥 政徳	箕輪町長
	福田 雄一	県市長会事務局長		市瀬 直史	喬木村長
	原山 幸治	県町村会事務局長		向井 裕明	南木曽町長
評議員	荻原 健司	長野市長	評議員	小林 弘幸	朝日村長
	臥雲 義尚	松本市長		矢口 稔	池田町長
	土屋 陽一	上田市長		山村 弘	坂城町長
	早出 一真	岡谷市長		藤沢 敏和	高山村長
	佐藤 健	飯田市長		日臺 正博	木島平村長
	金子 ゆかり	諏訪市長		峯村 勝盛	飯綱町長
	三木 正夫	須坂市長		三木 正夫	県社会福祉協議会長
	小泉 俊博	小諸市長		碓井 稔	県経営者協会長
	白鳥 孝	伊那市長		松嶋 隆徳	県民生委員児童委員協議会連合会長
	伊藤 祐三	駒ヶ根市長		根橋 美津人	連合長野会長
	湯本 隆英	中野市長		岡 正子	岡学園理事長
	牛越 徹	大町市長		若林 安美	県商工会連合会副会長
	江沢 岸生	飯山市長		井出 誠一	県青少年赤十字指導者協議会長
	今井 敦	茅野市長		岡田 敏子	赤十字奉仕団県支部委員長
	百瀬 敬	塩尻市長			

## ○ 本社役員

役職名	氏名	公職名	役職名	氏名	公職名
理 事	花岡 利夫	県市長会長		岡田 敏子	赤十字奉仕団県支部委員長
代議員	白鳥 孝	県市長会社会環境部会長		宮坂 佐和子	諏訪赤十字看護専門学校同窓会長
	富井 俊雄	県町村会副会長		柳沢 好哉	青年赤十字奉仕団委員長
	浅井 隆彦	八十二銀行取締役会長			

**地区分区住所録**  
(市町村の赤十字事務局)

(令和7年4月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
長野市		380-0813	長野市大字鶴賀緑町 1714-5 長野市社会福祉協議会 総務課	026-225-1234
松本市		390-0833	松本市双葉 4-16 松本市社会福祉協議会 地域福祉課	0263-27-3381
上田市		386-8601	上田市大手一丁目 11 番 16 号 上田市役所 福祉課 庶務施設係	0268-71-8081
岡谷市		394-8510	岡谷市幸町 8 番 1 号 岡谷市役所 健康福祉部 社会福祉課	0266-23-4811
飯田市		395-8501	飯田市大久保町 2534 飯田市役所 危機管理部 危機管理課 防災係	0265-22-4511
諏訪市		392-8511	諏訪市高島一丁目 22 番地 30 号 諏訪市役所 社会福祉課 社会係	0266-52-4141
須坂市		382-0911	須坂市大字須坂 476-1 須坂市社会福祉協議会 助け合い起こし推進係	026-214-2994
小諸市		384-0006	小諸市与良町六丁目 5 番 1 号 小諸市社会福祉協議会	0267-25-7337
伊那市		396-8617	伊那市下新田 3050 伊那市役所 保健福祉部 社会福祉課 総務係	0265-78-4111
駒ヶ根市		399-4192	駒ヶ根市赤須町 20 番 1 号 駒ヶ根市役所 福祉課 社会福祉係	0265-83-2111
中野市		383-0042	中野市西条 70-1 中野市社会福祉協議会	0269-26-3111
大町市		398-8601	大町市大町 3887 大町市役所 福祉課 庶務係	0261-22-0420
飯山市		389-2292	飯山市大字飯山 1110-1 飯山市役所 保健福祉課	0269-67-0727
茅野市		391-8501	茅野市塚原二丁目 6 番 1 号 茅野市役所 地域福祉課 福祉 21 推進係	0266-72-2101
塩尻市		399-0786	塩尻市大門七番町 3 番 3 号 塩尻市役所 福祉課	0263-52-0280
佐久市		385-0011	佐久市猿久保 249-2 佐久市社会福祉協議会 福祉課 地域福祉係	0267-67-2463

**地区分区住所録**  
(市町村の赤十字事務局)

(令和7年4月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
千曲市		387-8511	千曲市杭瀬下二丁目 1 千曲市役所 福祉課 地域福祉係	026-273-1111
東御市		389-0502	東御市鞍掛 197 東御市社会福祉協議会 総務係	0268-62-4455
安曇野市		399-8281	安曇野市豊科 6000 安曇野市役所 福祉部 福祉課 福祉政策担当	0263-71-2253
下伊那郡		395-0034	飯田市追手町二丁目 678 長野県飯田合同庁舎内 下伊那郡町村会	0265-22-0556
木曽郡		399-6101	木曽郡木曽町日義 4898-37 木曽郡町村会	0264-23-1070
南佐久郡	小海町	384-1103	南佐久郡小海町大字豊里 805 小海町社会福祉協議会	0267-92-4107
南佐久郡	佐久穂町	384-0613	南佐久郡佐久穂町大字高野町 351 佐久穂町社会福祉協議会	0267-86-4273
南佐久郡	川上村	384-1406	南佐久郡川上村原 312 川上村社会福祉協議会	0267-97-3522
南佐久郡	南牧村	384-1302	南佐久郡南牧村海ノ口 966-15 南牧村社会福祉協議会	0267-96-2363
南佐久郡	南相木村	384-1211	南佐久郡南相木村 3781-162 南相木村社会福祉協議会	0267-78-1001
南佐久郡	北相木村	384-1201	南佐久郡北相木村 2744 北相木村役場 住民福祉課	0267-77-2111
北佐久郡	軽井沢町	389-0111	北佐久郡軽井沢町大字長倉 4844-1 軽井沢町社会福祉協議会 地域福祉係	0267-45-8113
北佐久郡	御代田町	389-0206	北佐久郡御代田町御代田 1772-1 御代田町社会福祉協議会 福祉係	0267-32-1100
北佐久郡	立科町	384-2305	北佐久郡立科町芦田 2523 立科町社会福祉協議会	0267-56-1825
小県郡	長和町	386-0701	小県郡長和町和田 4253-1 長和町社会福祉協議会	0268-88-3069
小県郡	青木村	386-1601	小県郡青木村大字田沢 3231 青木村社会福祉協議会	0268-49-2129
諏訪郡	下諏訪町	393-8501	諏訪郡下諏訪町 4613-8 下諏訪町役場 保健福祉課 福祉係	0266-27-1111

**地区分区住所録**  
(市町村の赤十字事務局)

(令和7年4月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
諏訪郡	富士見町	399-0292	諏訪郡富士見町落合 10777 富士見町役場 住民福祉課 社会福祉係	0266-62-9144
諏訪郡	原村	391-0104	諏訪郡原村 6649-3 原村社会福祉協議会	0266-79-7228
上伊那郡	辰野町	399-0493	上伊那郡辰野町中央 1 辰野町役場 保健福祉課	0266-41-1111
上伊那郡	箕輪町	399-4695	上伊那郡箕輪町大字中箕輪 10298 箕輪町役場 福祉課 社会福祉係	0265-79-3162
上伊那郡	飯島町	399-3702	上伊那郡飯島町飯島 2551 飯島町社会福祉協議会	0265-86-5511
上伊那郡	南箕輪村	399-4592	上伊那郡南箕輪村 4825-1 南箕輪村役場 健康福祉課 福祉係	0265-72-2105
上伊那郡	中川村	399-3801	上伊那郡中川村大草 4038-1 中川村社会福祉協議会	0265-88-3552
上伊那郡	宮田村	399-4301	上伊那郡宮田村 6838-1 宮田村社会福祉協議会 総務係	0265-85-5010
下伊那郡	松川町	399-3303	下伊那郡松川町元大島 3823 松川町役場 保健福祉課	0265-36-7022
下伊那郡	高森町	399-3193	下伊那郡高森町下市田 2183-1 高森町役場 健康福祉課 福祉係	0265-35-9412
下伊那郡	阿南町	399-1511	下伊那郡阿南町東條 58-1 阿南町役場 民生課 福祉係	0260-22-4051
下伊那郡	阿智村	395-0303	下伊那郡阿智村駒場 483 阿智村役場 民生課 福祉係	0265-43-2220
下伊那郡	平谷村	395-0601	下伊那郡平谷村 383-1 平谷村社会福祉協議会	0265-48-2220
下伊那郡	根羽村	395-0701	下伊那郡根羽村 2131-1 根羽村社会福祉協議会	0265-49-2288
下伊那郡	下條村	399-2102	下伊那郡下條村陽臈 1 いきいきらんど下條内 下條村社会福祉協議会	0260-27-2858
下伊那郡	壳木村	399-1609	下伊那郡壳木村旭 688-1 壳木村社会福祉協議会	0260-28-2004
下伊那郡	天龍村	399-1201	下伊那郡天龍村平岡 878 天龍村役場 健康福祉課	0260-32-1021

**地区分区住所録**  
(市町村の赤十字事務局)

(令和7年4月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
下伊那郡	泰阜村	399-1895	下伊那郡泰阜村 3236-1 泰阜村役場 住民福祉課	0260-26-2111
下伊那郡	喬木村	395-1100	下伊那郡喬木村 6664 喬木村役場 保健福祉課	0265-33-5123
下伊那郡	豊丘村	399-3295	下伊那郡豊丘村神稻 3120 豊丘村役場 健康福祉課 福祉係	0265-35-9060
下伊那郡	大鹿村	399-3502	下伊那郡大鹿村大字大河原 354 大鹿村役場 住民税務課	0265-39-2001
木曾郡	上松町	399-5601	木曾郡上松町大字上松 159-4 上松町役場 住民福祉課 福祉係	0264-52-5550
木曾郡	南木曾町	399-5301	木曾郡南木曾町読書 3668-1 南木曾町役場 住民課	0264-57-2001
木曾郡	木曾町	397-8588	木曾郡木曾町福島 2326-6 木曾町役場 保健福祉課 福祉係	0264-22-4035
木曾郡	木祖村	399-6201	木曾郡木祖村藪原 1191-30 幸せテラスまめのわ内 木祖村社会福祉協議会	0264-36-3441
木曾郡	王滝村	397-0201	木曾郡王滝村 2830-1 王滝村役場 福祉健康課 福祉係	0264-48-3155
木曾郡	大桑村	399-5503	木曾郡大桑村大字長野 2775-6 大桑村役場 福祉健康課 保健係	0264-55-4003
東筑摩郡	麻績村	399-7701	東筑摩郡麻績村麻 2787 麻績村社会福祉協議会	0263-67-3099
東筑摩郡	生坂村	399-7201	東筑摩郡生坂村 6271-1 生坂村社会福祉協議会	0263-69-3000
東筑摩郡	山形村	390-1301	東筑摩郡山形村 4520-1 山形村社会福祉協議会	0263-97-2102
東筑摩郡	朝日村	390-1188	東筑摩郡朝日村大字古見 1555-1 朝日村役場 住民福祉課	0263-99-2001
東筑摩郡	筑北村	399-7501	東筑摩郡筑北村西条 3507 筑北村社会福祉協議会	0263-66-2506
北安曇郡	池田町	399-8696	北安曇郡池田町大字池田 3203-6 池田町役場 総務課	0261-62-3131
北安曇郡	松川村	399-8501	北安曇郡松川村 64-1 保健センター内 松川村役場 福祉課 健康推進係	0261-62-3290

**地区分区住所録**  
(市町村の赤十字事務局)

(令和7年4月1日現在)

地区	分区	〒	住 所	TEL
北安曇郡	白馬村	399-9301	北安曇郡白馬村大字北城 7025 白馬村社会福祉協議会	0261-72-7230
北安曇郡	小谷村	399-9421	北安曇郡小谷村大字中小谷丙 2544-3 小谷村社会福祉協議会	0261-82-2430
埴科郡	坂城町	389-0602	埴科郡坂城町大字中之条 2225 坂城町社会福祉協議会 地域福祉係	0268-82-2551
上高井郡	小布施町	381-0201	上高井郡小布施町大字小布施 860-1 小布施町社会福祉協議会 地域福祉課	026-242-6665
上高井郡	高山村	382-0821	上高井郡高山村大字牧 130-1 高山村社会福祉協議会	026-242-1220
北信	山ノ内町	381-0401	下高井郡山ノ内町平穏 3371-2 山ノ内町社会福祉協議会	0269-33-1105
北信	木島平村	389-2302	下高井郡木島平村大字往郷 908-3 木島平村社会福祉協議会	0269-82-4888
北信	野沢温泉村	389-2502	下高井郡野沢温泉村大字豊郷 9817 野沢温泉村社会福祉協議会	0269-85-4347
北信	栄村	389-2702	下水内郡栄村大字北信 3601-5 栄村社会福祉協議会	0269-87-3450
上水内郡	信濃町	389-1305	上水内郡信濃町大字柏原 429-17 信濃町社会福祉協議会	026-255-5926
上水内郡	飯綱町	389-1206	上水内郡飯綱町大字普光寺 920 飯綱町社会福祉協議会 地域福祉課	026-253-1001
上水内郡	小川村	381-3302	上水内郡小川村大字高府 8553 小川村社会福祉協議会	026-269-2255

## 赤十字施設一覧表 (本社及び県内各施設)

日本赤十字社	〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3 TEL (03)3438-1311 (代) E-Mail info@jrc.or.jp
日本赤十字社長野県支部 (長野県赤十字歴史資料館)	〒380-0836 長野市南県町 1074 TEL (026)226-2073 FAX (026)223-4181 E-Mail info@nagano.jrc.or.jp
長野赤十字病院	〒380-8582 長野市若里 5-22-1 TEL (026)226-4131 (代)
諏訪赤十字病院	〒392-8510 諏訪市湖岸通り 5-11-50 TEL (0266)52-6111 ~ 5
安曇野赤十字病院	〒399-8292 安曇野市豊科 5685 TEL (0263)72-3170
飯山赤十字病院	〒389-2295 飯山市飯山 226-1 TEL (0269)62-4195 ~ 7
下伊那赤十字病院	〒399-3303 下伊那郡松川町元大島 3159-1 TEL (0265)36-2255
川西赤十字病院	〒384-2292 佐久市望月 318 TEL (0267)53-3011 ~ 2
諏訪赤十字看護専門学校	〒392-0024 諏訪市小和田 23-27 TEL (0266)57-3275 内線 710
長野県赤十字血液センター	〒381-2214 長野市稻里町田牧 1288-1 TEL (026)214-8070
長野県赤十字血液センター 間御所出張所(長野献血ルーム)	〒380-0834 長野市間御所 1271-3 (トイゴウェスト 2F) TEL (026)219-2480
長野県赤十字血液センター 松本事業所	〒390-0852 松本市大字島立 2174-1 TEL (0263)88-2650
長野県赤十字血液センター 松本公園通り出張所	〒390-0811 松本市中央 1-8-11 (ジブラルタ生命ビル 2F) TEL (0263)37-1600
松本赤十字乳児院	〒390-0803 松本市元町 3-8-10 TEL (0263)31-5203 (0263)34-2151 (テレフォン育児相談 専用) (0263)31-5206 (里親支援 専用)